

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-8

< 37週 > 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークに、その後減少が続いているものの、前週、今週は微減にとどまっている / その他最新動向

< 8月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.9

< 腸管出血性大腸菌感染症 >

2003年の報告数は、過去4年間と比べて比較的少なく推移しており、第34週には大幅に増加したが、第36週、37週では減少した



病原体情報
P.10-11

患者から分離・検出された病原体報告 - ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス / 手足口病患者から分離されているウイルス / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス



速報
P.12-13

インフルエンザ非流行期(7月)におけるA香港型インフルエンザウイルスの単発分離例 - 愛知県 / 台湾への渡航者から分離されたインフルエンザウイルス - 川崎市



海外感染症情報
P.14-15

マーシャル諸島での麻疹流行 / ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 米国、カナダ



感染症の話
P.16-18

< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 >

学童期の小児に最も多く、2~5日の潜伏期の後、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症する



読者のコーナー
P.19



グラフ総覧(37週)
P.20-26



グラフ総覧(8月)
P.27-31



8月のデータ
P.32-35



37週のデータ
P.36-44



発生動向総覧

第37週コメント 9月18日集計分

全数報告の感染症

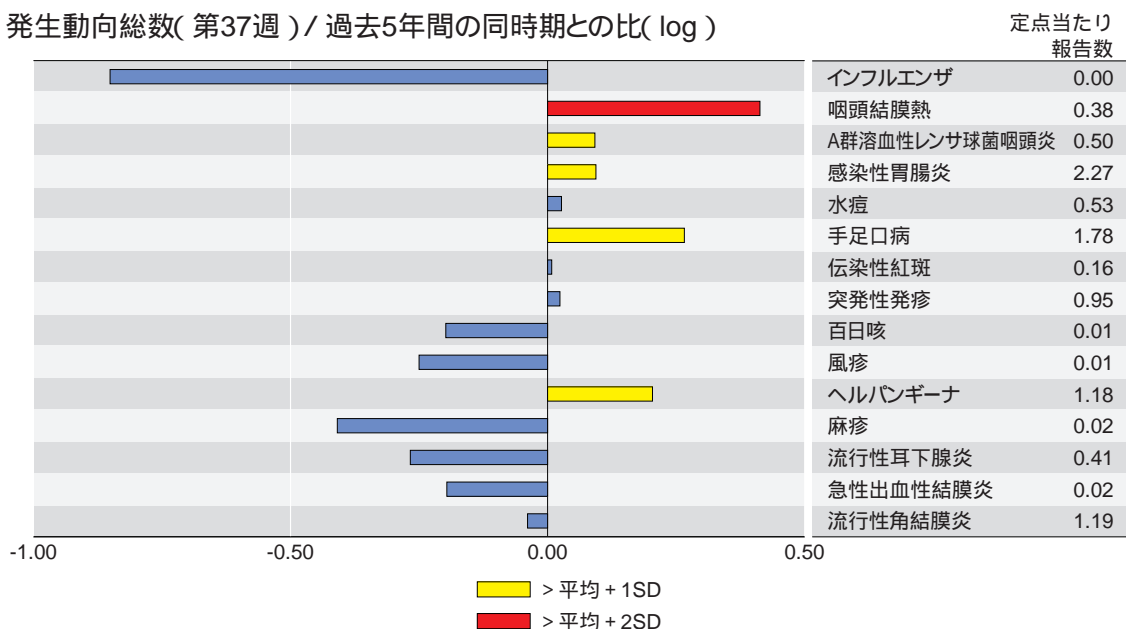
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しくお願い下さい。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 18例(推定感染地域: 国内2例、中国11例、インドネシア1例、フィリピン1例、ロシア1例、ウズベキスタン1例、カザフスタン1例(中国11例は同一ツアー))
腸チフス 3例(推定感染地域: インドネシア2例、中国1例(うち2例は疑似症))
パラチフス 1例(推定感染地域: 中国)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 79例(うち有症者48例)
報告の多い都道府県: 千葉県13例、東京都9例
血清型・毒素型: O157 VT2(19例) O157 VT1・VT2(16例) O26 VT1(11例)
その他(33例)
年齢: 10歳未満(43例) 10代(10例) 20代(13例) 30代(5例) 40代(1例)
50代(4例) 60代(1例) 70歳以上(2例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢 2例(推定感染地域: 国内1例、不明1例)
エキノコックス症 1例(多包条虫)
オウム病 1例(推定感染源: インコ)
急性ウイルス性肝炎 1例 B型(推定感染経路: 性的接触)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発例、76歳)
後天性免疫不全症候群 10例(AIDS 1例、無症候9例)
男性/女性: 10例/0例
推定感染経路: 性的接触9例(すべて同性間)、不明1例
推定感染地域: 国内8例、不明2例
ジアルジア症 1例(推定感染地域: 国内)
梅毒 4例(早期顕症I期2例、早期顕症II期1例、無症候1例)
破傷風 2例(64歳、66歳)
レジオネラ症 4例(56歳、62歳、70歳、80歳)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第37週) / 過去5年間の同時期との比(log)

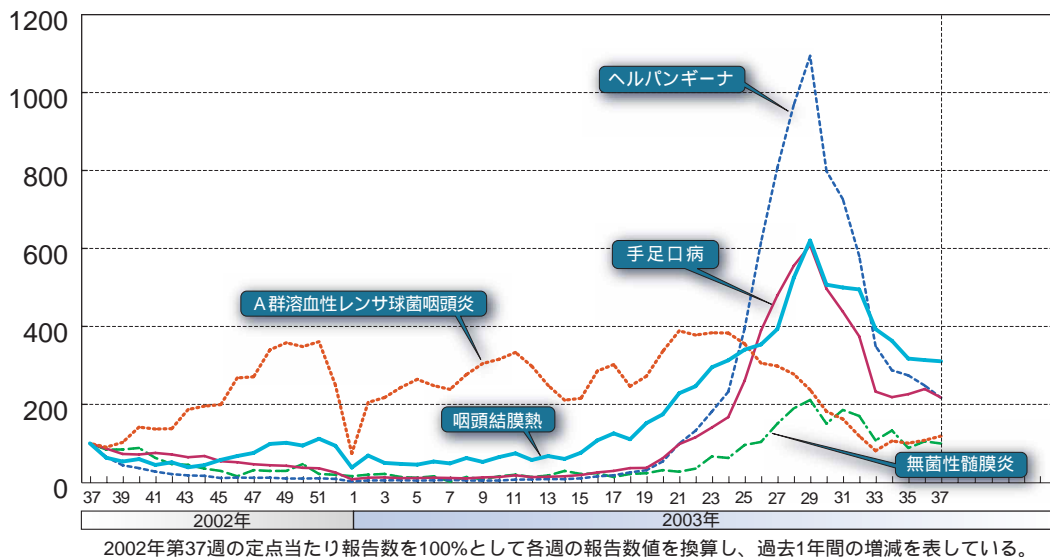


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後減少が続いているものの、前週、今週は微減にとどまっている。第16週以降、過去10年間の当該週と比較して最高の値であり、都道府県別では鳥取県(1.4)、滋賀県(1.2)、大分県(1.2)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では山形県(1.5)、鳥取県(1.4)、大分県(1.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では福井県(5.4)、富山県(4.4)、宮崎県(4.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後5週続けて減少した後、2週続けて微増したが、今週は減少した。第32週以降、過去10年間の当該週と比較して最も多く、都道府県別では岩手県(6.7)、秋田県(5.1)、長野県(4.8)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では宮崎県(3.9)、福井県(3.5)、愛媛県(3.5)が多い。

基幹定点報告疾患: 無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は微減して0.11で、都道府県別では鳥取県(1.8)、福井県(0.8)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少して0.23で、都道府県別では山形県(1.4)、岡山県(1.0)、大阪府(0.9)が多い。

最近の主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第37週)



2002年第37週における各疾患の定点当たり報告数を100%として、各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。

8月コメント

性感染症について(9月10日集計分) 性感染症定点数: 920

2003年8月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.67(男1.55、女2.12)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.89(男0.38、女0.51)、尖形コンジロームが0.57(男0.29、女0.27)、淋菌感染症が2.00(男1.55、女0.45)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べ、ほとんどの疾患がやや減少した(27~30ページグラフ総覧参照)。過去4年間の同時期と比較すると、女性の尖形コンジローム、淋菌感染症で平均 + 1標準偏差(SD) を超えている(図2)。

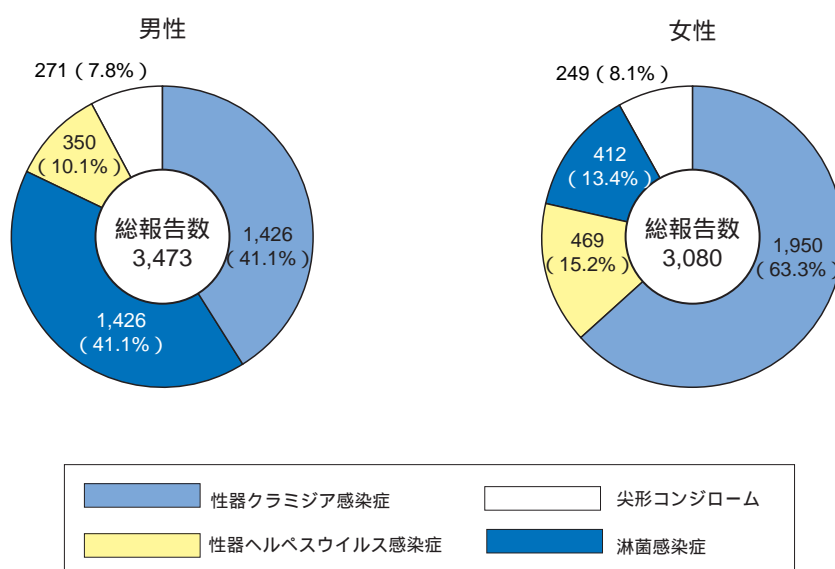
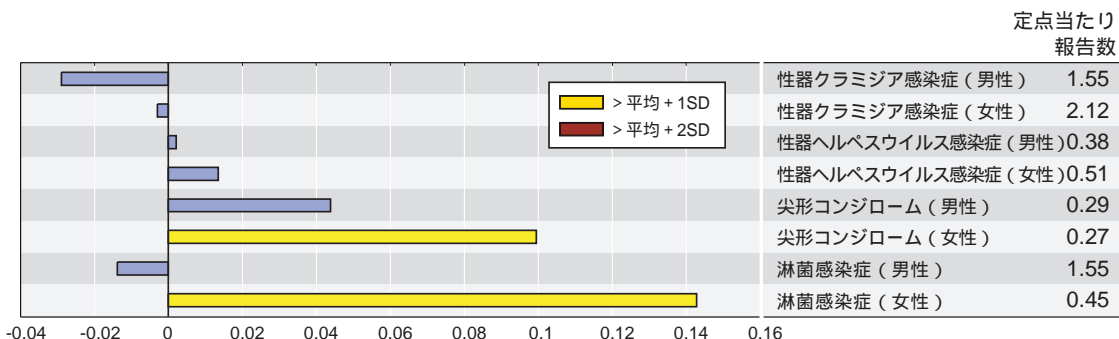


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(8月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(8月)過去4年間との比(log)



当該月と過去4年間の平均(過去4年間の前月、当該月、後月の合計12カ月の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると、いずれの疾患でもピークは20~29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少なくない(図3)。淋菌感染症ではいずれの年齢層でも男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数が多い傾向が認められた。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15~29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。前月に比べて、横ばいあるいはやや減少している。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報) 4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(8月)

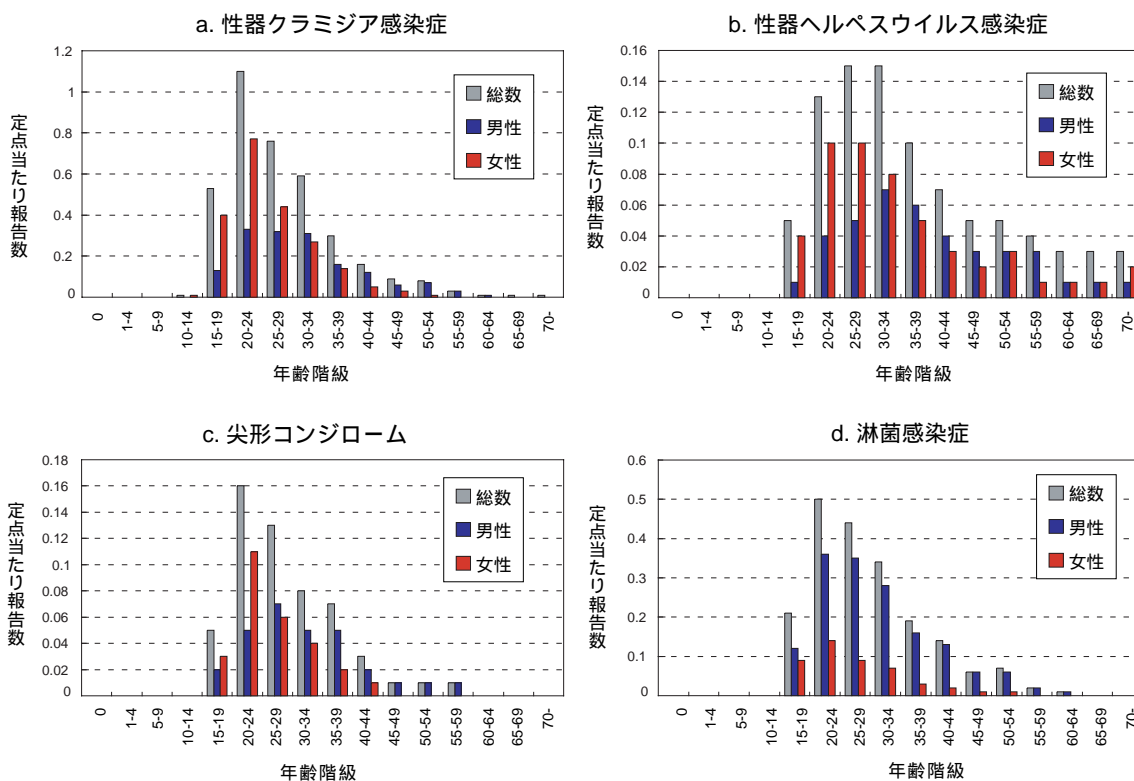
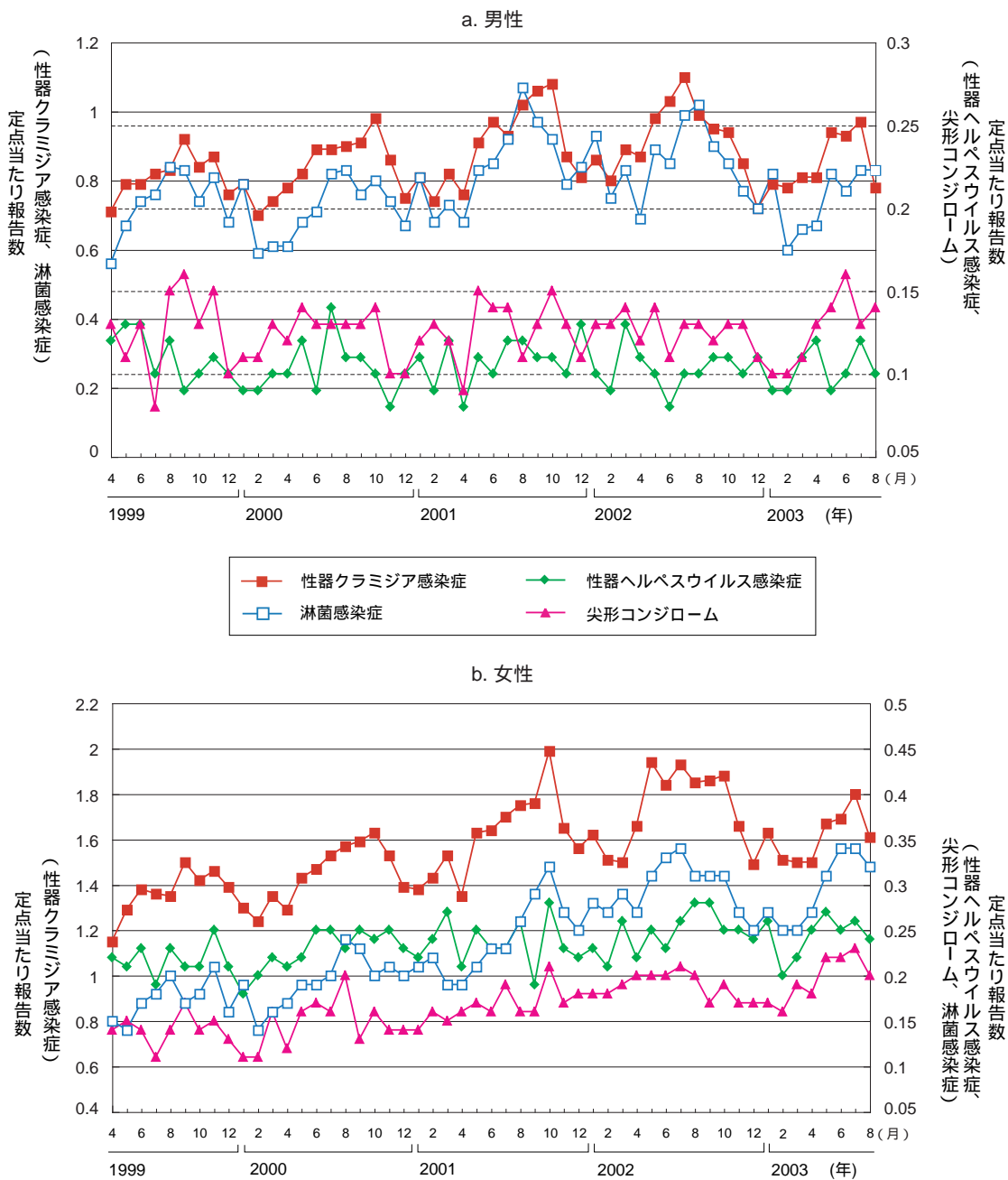


図4.1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15～29歳)



薬剤耐性菌感染症について(9月10日集計分) 基幹定点数 : 470

8月の定点(基幹定点)総数 : 470

定点当たり報告数 : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.95
(前月: 3.93、前年同月: 4.14)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 0.84
(前月: 0.96、前年同月: 0.76)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.17(前月: 0.15、前年同月: 0.16)

年齢階級別 : MRSA感染症 65歳以上が全体の65%(70歳以上が56%)を占めている。

PRSP感染症 5歳未満の小児に多く、全体の59%を占めている。また
65歳以上の高齢者にも多く、全体の21%を占めている。

薬剤耐性緑膿菌感染症 65歳以上が全体の62%(70歳以上が49%)を占めている。

性別 : (女性を1として算出した男/女比): MRSA感染症 1.8/1

PRSP感染症 1.5/1

薬剤耐性緑膿菌感染症 2.1/1

都道府県別 : MRSA感染症 定点当たり報告数は山口県(8.11)、栃木県(8.00)、奈良県(7.83)が多く、累積では山口県(63.50)、富山県(60.20)が多い。

PRSP感染症 定点当たり報告数は千葉県(6.22)が多く、累積では千葉県(55.67)、富山県(41.80)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症 定点当たり報告数は岩手県(0.75)、宮城県(0.73)が多く、累積では岩手県(3.90)、広島県(3.55)が多い。

結核サーベイランス月報(9月24日集計分)

8月の新登録患者数は2,641人(男性1,677人、女性964人)で、このうち活動性肺結核患者は2,125(うち喀痰塗抹陽性者は990人)であった。

都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(316人)、大阪府(大阪市を除く) (156人)、大阪市(152人)、埼玉県(さいたま市を除く) (117人)、兵庫県(神戸市を除く) (115人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は559人、非定型抗酸菌陽性者数は266人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。

また、9月19日に、2002年の結核発生動向調査年報が出されました。詳しくは、結核研究所のホームページ(<http://www.jata.or.jp>)をご覧ください。

訂正 : 2003年第33号結核サーベイランス月報記事内において誤りがありましたので、以下のように訂正いたします。

(誤) 6月の新登録患者数は

(正) 7月の新登録患者数は



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

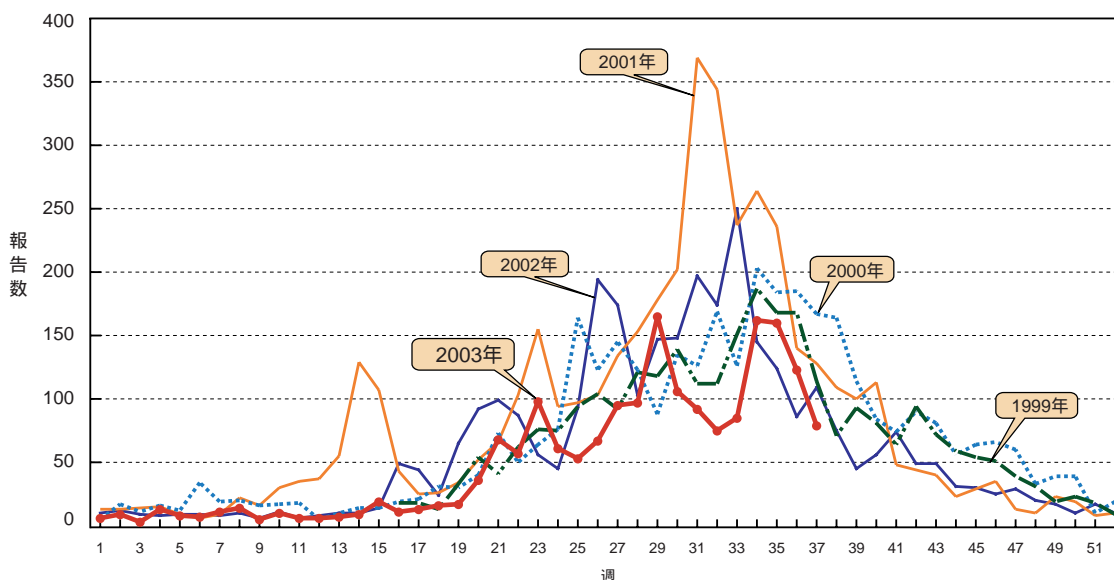
2003年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、過去4年間と比べて比較的少なく推移してきた(図)。特に第31~33週は通常報告数が多い時期であるが、本年の報告数は各週とも100例に満たず、少なかった。第34週には大幅に増加し、第35週にはほとんど不変であったが、第36週では減少し、第37週ではさらに減少した。

第37週の報告数は今のところ79例で(昨年同時期は102例)。性別では男性40例、女性39例であった。うち有症者は48例で、報告例全体の61%であった。都道府県別では多い順に千葉県13例、東京都9例などであった。5歳毎の年齢階級別にみると(0歳、1~4歳、70歳以上は別扱い)、1~4歳26例、5~9歳13例、20~24歳8例と、1~4歳の報告数が多かった。これは保育所、幼稚園関連の症例が多かったためと思われる。

血清型についてはO157が44例、O26が13例であった。血清型とベロ毒素の型の組み合わせでは多い順に、O157 VT2が19例、O157 VT1・VT2が16例、O26 VT1が11例などとなっている。2003年の第37週までの累積報告数は今のところ1,879例(昨年同時期は2,598例)となっており、昨年よりは少ないものの、集団発生の報告が続いていることから、依然として注意を要する。

今年に入って、死亡例(届け出時点)は2例が報告されている。

図 . 腸管出血性大腸菌感染症の週別報告数 (1999年4月 ~ 現在まで)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2003年9月19日現在報告分)

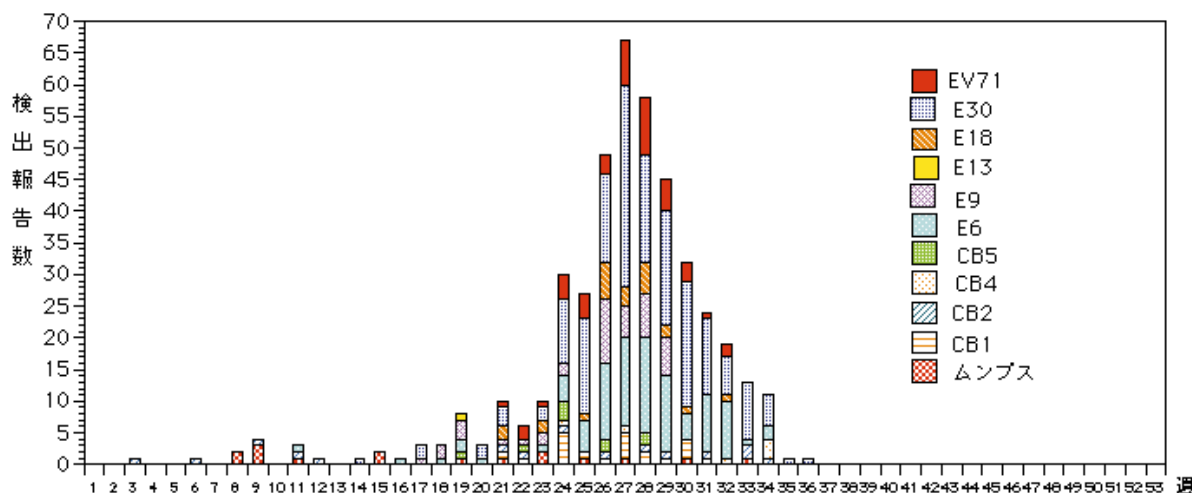
ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年

検出総数は500件で、うちO157が351件、O26が109件、その他の血清型が40件報告されている。最近では、O157が第35週に秋田県2件(いずれもVT1&2)、岩手県2件(いずれもVT1&2)、京都府1件(VT2)、第36週に宮城県3件(すべてVT1&2)、浜松市2件(VT1&2が1件、VT2が1件)、O26が第36週に秋田県1件(VT1)、宮城県1件(VT1)、O103が第35週に岩手県1件(VT1)、OUT(O型別不能)が第36週に秋田県1件(VT1)で、いずれも散発または家族内発生事例からの検出報告である。

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型(EV71)が42件(広島県11、神奈川県10、大阪府6、愛知県5など10都府県)、エコーウイルス(E)が337件(30型170、6型94、9型40、18型23、7型6、16型2、13型1、27型1)報告されている。E30は第24週以降検出報告が増加し、第27週(32件)をピークとして、近畿地方(大阪府57、奈良県24など)からの報告が中心であり、現在も近畿地方からの報告が続いている。E6も第24～32週にかけて報告が増加し、大阪府36、新潟県17、千葉県12などの府県から報告されている。E9は第26～29週、EV71は第24～30週にかけて検出報告が増加している。その他、B群コクサッキーウイルスが53件(1型20、2型16、5型9、4型6、3型2)、ムンプスウイルスが16件、A群コクサッキーウイルスが9件(9型3、16型2、2型1、4型1、6型1、12型1)報告されている。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数、2003年(病原微生物検出情報: 2003年9月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

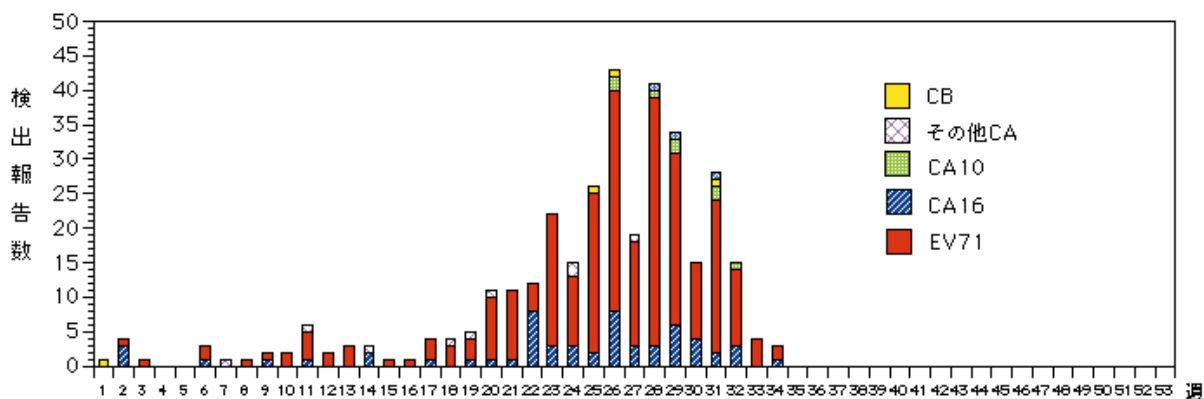


Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から分離されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型(EV71)が261件(福島県48、山形県43、愛媛県38、広島県31、香川県20など19都府県) A群コクサッキーウイルス(CA)16型は58件(愛知県14、新潟県9、岩手県6、愛媛県6など17府県)報告されている。EV71は、年初より分離が報告され、第20週以降各地からの分離が相次ぎ、夏季を中心に分離報告が増加している。CA16も年初より分離が報告され、夏季に分離報告が若干増加したものの、EV71に比して報告数は大きく下回っている。その他、CA10が8件(奈良県3、秋田県1、栃木県1、島根県1、愛媛県1、熊本県1) CA2が4件、CA6が3件、CB2が2件、エコーウイルス(E)9型が2件、CA4が1件、CA5が1件、CB5が1件、E22が1件報告されている。

週別手足口病患者からのウイルス分離報告数、2003年 (病原微生物検出情報：2003年9月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2003年

A群コクサッキーウイルス(CA)が196件(10型106、6型41、4型26、2型15、12型3、16型2、5型1、9型1、14型1)報告されている。この他に、B群コクサッキーウイルスが11件(5型4、1型3、4型2、2型1、3型1)、エコーウイルスが11件(30型8、6型2、7型1)、エンテロウイルス71型(EV71)が2件報告されている。



インフルエンザ非流行期(7月)におけるA香港型インフルエンザウイルスの単発分離例 - 愛知県

インフルエンザ非流行期の7月に、A香港型インフルエンザウイルス1株が単発的に分離されたので報告する。

症例は年齢26歳の男性で、2003年(平成15年)7月14日にインフルエンザ症状を発症し、インフルエンザ迅速診断試験で陽性となったことから、7月17日採取の咽頭ぬぐい液が当所に搬入された。定法に従い検体処理し、MDCK細胞に接種したところ、細胞変性効果が観察された。

国立感染症研究所より2002/03シーズン用に分与された検査キットで、0.75%ヒトO型赤血球を用いてHI試験を行ったところ、抗A/New Caledonia/20/99(H1N1)血清(ホモ価 160)、抗A/Moscow/13/98(H1N1)血清(ホモ価 320)、抗B/Shandong(山東)7/97血清(ホモ価 160)および抗B/Hiroshima(広島)23/2001血清(ホモ価 160)ではいずれもHI価 < 10であったが、抗A/Panama/2007/99(H3N2)血清(ホモ価 320)に対してはHI価 10であり、抗原性はA/Panama/2007/99株に類似せず、AH3型の抗原変異株と考えられた。さらに、HA遺伝子HA1領域の遺伝子解析を行い、アミノ酸配列を推定したところ、A/Panama/2007/99株に類似していた2002/03シーズンの愛知県下の分離ウイルスと比較し、6カ所のアミノ酸が変異していた。このうち、抗原決定領域と考えられている145、159番目のアミノ酸が変異し、それが抗原変異に寄与しているものと考えられた。

発症前後の2003年第28 ~ 30週(7月7 ~ 27日)には、愛知県下ではインフルエンザ患者発生の報告は当該症例以外なく、当ウイルスによる地域流行等は観察されなかった。また、感染経路については、患者男性は発症直前の7月13 ~ 14日にかけて、カナダのバンクーバーとエドモントンを訪れていたことから、渡航先のカナダで罹患した可能性が考えられた。

流行予測の観点から、非流行期におけるインフルエンザウイルスの動向の把握は重要である。本事例のように抗原変異株が分離される場合もあることから、非流行期においてもインフルエンザ監視活動を維持することが必要と考える。

愛知県衛生研究所

佐藤克彦 森下高行 榮 賢司

(IASR2003年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

台湾への渡航者から分離されたインフルエンザウイルス - 川崎市

川崎市在住の男性(41歳)が台湾への渡航中にインフルエンザに感染したと思われる症例がみられたので、報告する。

患者は2003年7月6 ~ 11日まで台湾に出張し、台北市内に宿泊していた。7月8日に発症し、38 度の発熱、関節痛、喉の痛みを訴え、帰国後、医療機関を受診した。台湾が重症急性呼吸器症候群(SARS)の流行地域であったことから、本人はSARSの感染を心配していたが、7月5日に台湾の流行地域指定は解除されていることと、臨床所見からSARSではないと診断された。

7月14日、当所に咽頭ぬぐい液が搬入され、呼吸器ウイルス分離および細菌検査を行った。接種2日目にCaCo-2細胞にCPEが認められ、インフルエンザ迅速診断キットで検査したところ、A型インフルエンザウイルスと判定された。培養上清について0.75%ヒトO型血球を用いてHA試験を行い、国立感染症研究所から分与された2002/03シーズン用インフルエンザウイルス同定キットを用いてHI試験を行った。その結果、抗A/New Caledonia/20/99(H1N1)血清(ホモ価 640)、抗A/Moscow/13/99(H1N1)血清(ホモ価 1,280)、抗B/Shandong(山東)7/97血清(ホモ価 1,280)および抗B/Hiroshima(広島)23/2001血清(ホモ価 1,280)ではいずれもHI価 < 10であったが、抗A/Panama/2007/99(H3N2)血清(ホモ価 1,280)に対してHI価 640を示し、AH3型ワクチン株とほぼ同様の抗原性がみられた。また、ノイラミニダーゼ(NA)のRT-PCRでN2と判定され、A型インフルエンザウイルス(H3N2)と同定された。

2002/03シーズンの川崎市におけるインフルエンザの流行は4月で終息しており、台湾への渡航中に感染したものと考えられる。

日本ではインフルエンザウイルスは冬季に流行し、夏季に分離されることは非常に稀である。しかし、世界的に見ると、日本の7 ~ 8月は南半球では冬に相当し、台湾や香港および東南アジアではインフルエンザウイルスが流行する雨期にあたる。この時期は夏休みもあり、海外への渡航者が増加する時期でもある。現在、SARSの流行地域はないが、再流行する危険性がある。SARSの初期症状はインフルエンザに類似しており、呼吸器症状を呈する渡航者の検査において、インフルエンザウイルスとの鑑別が重要であると思われる。

川崎市衛生研究所

清水英明 奥山恵子 平位芳江 小川正之

(IASR2003年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

マーシャル諸島での麻疹流行

CDC/MMWR 2003年9月19日

2003年7月13日 ~ 9月13日までの間に、臨床的に診断された麻疹患者総計647名がマーシャル諸島共和国(RMI)のMajuro環礁で報告された。これは、1988年以降同国で報告された初めての麻疹流行である。さらに疑い例74名が調査中である。

この報告は、臨床的に診断された麻疹患者と、流行を抑止するための公衆衛生対策を記載する。患者647名中15名(2%)は血清学的検査、PCR法、またはウイルス分離培養いずれかの方法で検査によって診断が確定した。患者年齢の範囲は生後2週間 ~ 43歳にわたる(中央値: 12歳)、479名(74%)が20歳未満の未成年であった。Majuro環礁(2003年人口推定: 25,097名)における麻疹罹患率は、人口1,000人当たり26例である。この罹患率は1歳未満の乳児で最も高く(人口1,000人当たり160例)、次いで1 ~ 4歳の幼児で高い(人口1,000人当たり40名)。

麻疹患者総計58名が入院した。下痢と肺炎を合併した栄養不良の生後15カ月児、肺炎を合併した27歳女性、39歳女性(直接死因不明)の3名が死亡した。これら患者のいずれも、剖検は行われなかった。

麻疹の感染伝播を防止するため、RMI保健省は生後6 ~ 11カ月の乳児全員と、麻疹免疫を持たない11 ~ 40歳の全員に、麻疹、ムンプス、風疹の混合ワクチン(MMR)接種を勧告した。9月13日時点で、総計98%の生後6カ月 ~ 40歳の人々が、少なくとも1回のMMR接種歴があることになる。16,913回分のワクチンを提供したキャンペーン活動として、1) 医療・公衆衛生従事者のワクチン接種、2) 環礁全域9カ所の予防接種所における小児予防接種、3) 学童が予防接種を完了するまで学期の開始を延期し、入学時に予防接種証明を要求する、4) 十分な予防接種率が得られない地域における各戸別予防接種の実施、などが含まれる。

Majuro環礁からの感染拡大を抑止するために、RMIの他の環礁や島でもワクチン接種キャンペーンが実施された。保健省は他の環礁や島での予防接種キャンペーンが完了するまで、Majuro環礁からの船舶・航空機による渡航を延期し、Majuro環礁から他の環礁や諸島や、他の国々への渡航者全員にMMRワクチン接種証明を要求した。Kwajalein環礁のEbeye島で総計17名の麻疹患者が報告された。うち10名はMajuro環礁で曝露された。その他2つの環礁で、Majuro環礁で曝露した患者6名が報告された。RMI、その他の太平洋諸島、米国で麻疹サーベイランスが強化されている。太平洋地域や、米国への伝播は限定されている。ハワイ州での麻疹患者5名、グアム島での3名、パラオでの1名、カリフォルニア州での1名がこの流行と関連があると考えられている。

Majuro環礁への麻疹ウイルス輸入の感染源はまだ同定されていないが、この流行ではアジアで一般的に認められるH1遺伝子型株が確認されており、この遺伝子型株は最近日本と中国での患者から報告されている。予防接種実施諮問委員会は、麻疹が発展途上国を含む世界中の多数の地域で土着または流行しているために、全ての国際旅行者に麻疹ワクチン接種を勧告している。今後60日以内にRMIへ渡航する40歳未満の旅行者は、RMIが、国際航空機による全ての出国乗客に対し、麻疹に対して免疫があるという証明書を要求していることを知っておくべきである。証明は、ワクチン予防接種キャンペーンで用いられているのと同様の、年齢特異的な要求項目を全て満たしていなければならない。

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 米国、カナダ

CDC 9月26日、ヘルスカナダ 9月26日

州	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	26	3
アリゾナ	1	
アーカンソー	11	
コロラド	1,542	27
コネチカット	6	
デラウェア	4	
フロリダ	32	
ジョージア	13	2
イリノイ	19	
インディアナ	6	
アイオワ	79	3
カンザス	32	1
ケンタッキー	6	
ルイジアナ	67	1
メリーランド	17	1
マサチューセッツ	6	
ミネソタ	79	3
ミシシッピ	51	1
ミズーリ	35	2
モンタナ	187	1
ネブラスカ	890	13
ネバダ	1	
ニューハンプシャー	1	
ニュージャージー	10	1
ニューメキシコ	158	4
ニューヨーク	37	5
ノースカロライナ	16	
ノースダコタ	148	1
オハイオ	46	3
オクラホマ	40	
ペンシルバニア	91	1
ロードアイランド	3	
サウスカロライナ	1	
サウスダコタ	699	8
テネシー	7	
テキサス	311	7
ユタ	1	
バーモント	1	
バージニア	7	
ウィスコンシン	10	
ワイオミング	308	7
合計	5,005	95

4,944例の解析にて、3,075例（62%）はウエストナイル熱、1,432例（29%）はウエストナイル髄膜炎/脳炎、437例（9%）は不明。

(米国CDCホームページ<http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/index.htm>より)

州	陽性疑い患者数*	陽性確定患者数	死亡者数
ノバスコシア	0	1^	0
ケベック	14	0	0
オンタリオ	60	1^	2^^
マニトバ	106	4	1
サスカチュワン	582	18	3
アルバータ	182	28	0
ブリティッシュコロンビア	12^	1^	0
ユーコン	1^	0	0
合計	957	53	6

* 陽性の確定にはさらに検査を必要とする。
 ^ 地域外での感染と思われる症例。
 ^^ 9月3日に卒中で死亡した患者と9月5日に誤嚥性肺炎で死亡した患者の2名は、ウエストナイルウイルスの「陽性疑い患者」に含まれている。

(ヘルスカナダホームページ<http://www.hc-sc.gc.ca/pphb-dgspssp/wnv-vwn/>より)



感染症の話

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌は、上気道炎や化膿性皮膚感染症などの原因菌としてよくみられるグラム陽性菌で、菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こす。日常よくみられる疾患として、急性咽頭炎の他、膿痂疹、蜂巣織炎、あるいは特殊な病型として猩紅熱がある。これら以外にも中耳炎、肺炎、化膿性関節炎、骨髄炎、髄膜炎などを起こす。また、菌の直接の作用でなく、免疫学的機序を介して、リウマチ熱や急性糸球体腎炎を起こすことが知られている。さらに、発症機序、病態生理は不明であるが、軟部組織壊死を伴い、敗血症性ショックを来たす劇症型溶血性レンサ球菌感染症(レンサ球菌性毒素性ショック症候群)は重篤な病態として問題である。ここでは、感染症法下における感染症発生動向調査で、4類感染症定点把握疾患となっているA群溶血性レンサ球菌咽頭炎について述べる。

疫学

A群溶血性レンサ球菌感染症は温帯地域では普遍的な疾患であり、亜熱帯地域でもみられるが、熱帯地域ではまれな疾患である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はいずれの年齢でも起こり得るが、学童期の小児に最も多く、3歳以下や成人では典型的な臨床像を呈する症例は少ない。感染症発生動向調査のデータによると、冬季および春から初夏にかけての2つの報告数のピークが認められている。近年、全体の報告数が増加する傾向にあるが、迅速診断キットの普及などで診断技術が向上したことによる可能性もある。

本疾患は通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するとき起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多い。感染性は急性期にもっとも強く、その後徐々に減弱する。急性期の感染率については兄弟での間が最も高率で、25%と報告されている。学校での咽頭培養を用いた研究によると、健康保菌者が15～30%あると報告されているが、健康保菌者からの感染はまれと考えられている。

病原体

レンサ球菌はグラム陽性球菌で、細胞壁の多糖体の抗原性によりLancefield A～V群(I, Jは除く)分類されている。本疾患の原因菌はこのうちのA群に属し、ヒツジ赤血球加血液寒天培地上で溶血(完全溶血)をおこすので、A群溶血性レンサ球菌(溶連菌)と呼ばれる(溶血は不完全溶血、溶血は非溶血を指す)。菌種名としては化膿レンサ球菌(*Streptococcus pyogenes*)が使用される。A群溶血性レンサ球菌のほとんどは細胞表層に蛋白抗原としてM蛋白とT蛋白を有しており、これらの抗原性により、さらに型別分類される。M蛋白には100以上の型が、T蛋白には約50の型が知られている。また、この菌は溶血毒素、発熱毒素(発赤毒素)、核酸分解酵素、ストレプトキナーゼなど、種々の活性蛋白物質を産生して細胞外に分泌し、種々の症状を起こすと考えられている。

臨床症状

潜伏期は2～5日であるが、潜伏期での感染性については不明である。突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う。咽頭壁は浮腫状で扁桃は浸出を伴い、軟口蓋の小点状出血あるいは莓舌(写真1)がみられることがある。



写真1. 典型的な莓舌

猩紅熱の場合、発熱開始後12～24時間すると点状紅斑様、日焼け様の皮疹が出現する(写真2)。針頭大の皮疹により、皮膚に紙ヤスリ様の手触りを与える(sandpaper rash)ことがある。特に腋窩、ソケイ部など皮膚のしわの部分に多く、これに沿って線が入っているように見える(Pastia's sign)こともある。顔面では通常このような皮疹は見られず、額と頬が紅潮し、口の周りのみ蒼白にみえる(口囲蒼白)ことが特徴的である(写真2)。また、舌の変化として、発症早期には白苔に覆われた舌(white strawberry tongue)がみられ、その後白苔が剥離して莓舌(red strawberry tongue)となる。1週目の終わり頃から顔面より皮膚の膜様落屑が始まり、3週目までに全身に広がる。



写真2. 猩紅熱での体幹部、顔面の発疹と口囲蒼白

合併症として、肺炎、髄膜炎、敗血症などの化膿性疾患、あるいはリウマチ熱、急性糸球体腎炎などの非化膿性疾患を生ずることもある。

病原診断

咽頭培養により菌を分離することが基本であるが、A群多糖体抗原を検出する迅速診断キットも利用できる。迅速診断キットの特異度は一般的に高く、また感度は80%以上であるが、抗原量すなわち菌量に依存するため、咽頭擦過物の採取方法が重要である。

血清学的には抗streptolysin O抗体(ASO)、抗streptokinase抗体(ASK)などの抗体上昇を見ることがあり、診断の参考になる。

治療・予防

治療にはペニシリン系薬剤が第1選択薬であるが、アレルギーがある場合にはエリスロマイシンが適応となり、また第1世代のセフェムも使用可能である。いずれの薬剤もリウマチ熱、急性糸球体腎炎など非化膿性の合併症予防のために、少なくとも10日間は確実に投与することが必要である。除菌が思わしくない例では、クリンダマイシン、アモキシシリン/クラバン酸、あるいは第2世代以降のセフェム剤も使用される。

予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要であり、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行する。接触者に対する対応としては、集団発生などの特殊な状況では接触者の咽頭培養を行い、陽性であれば治療を行う。

感染症法における取り扱い

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の3つの基準をすべてを満たすもの

1. 発熱
2. 咽頭痛、咽頭発赤および頸部リンパ節炎(発疹を伴うこともある)
3. 莓舌

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

註：感染症法、および以下に述べる学校保健法では、猩紅熱の病名は削除されている。これは、猩紅熱がA群溶血性レンサ球菌感染症の一病型に過ぎず、医学的、疫学的にも猩紅熱という病名を特別に扱う必要がないからである。

学校保健法における取り扱い

本疾患は学校において予防すべき伝染病の中には明確に規定はされておらず、「学校で流行がおこった場合にその流行を防ぐため、必要があれば、学校長が学校医の意見を聞き、第3種学校伝染病としての措置を講じることができる疾患」のうち、「条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる伝染病」のひとつとして例示されている。しかしながら、本疾患は適切な抗生剤治療が行われれば、ほとんどの場合24時間以内に他人への伝染を防げる程度に病原菌を抑制できることもあり、登校登園については、流行阻止の目的というより患者本人の状態によって判断すべきであると考えられる。

(国立感染症研究所感染症情報センター 多田有希・岡部信彦)



読者のコーナー

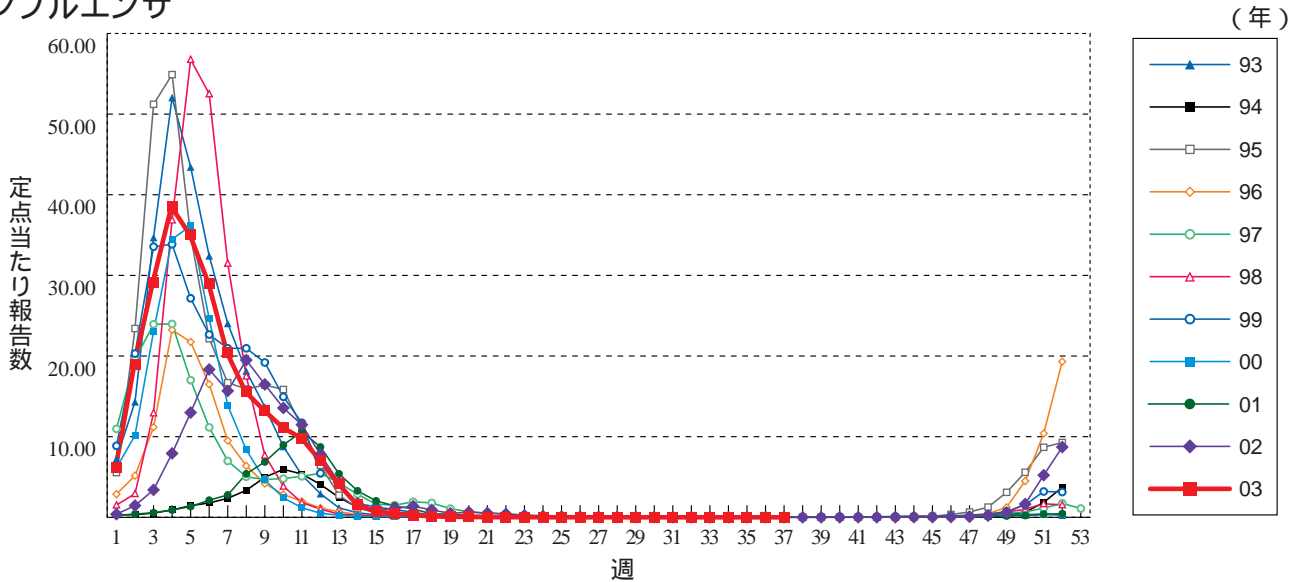
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

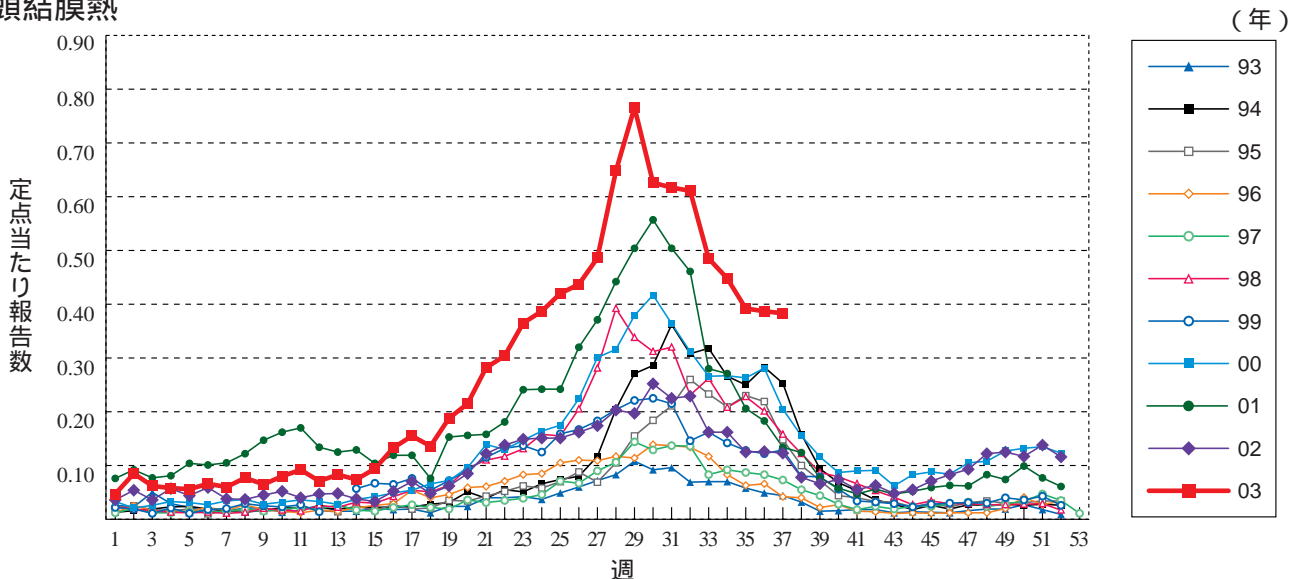


グラフ総覧(37週)

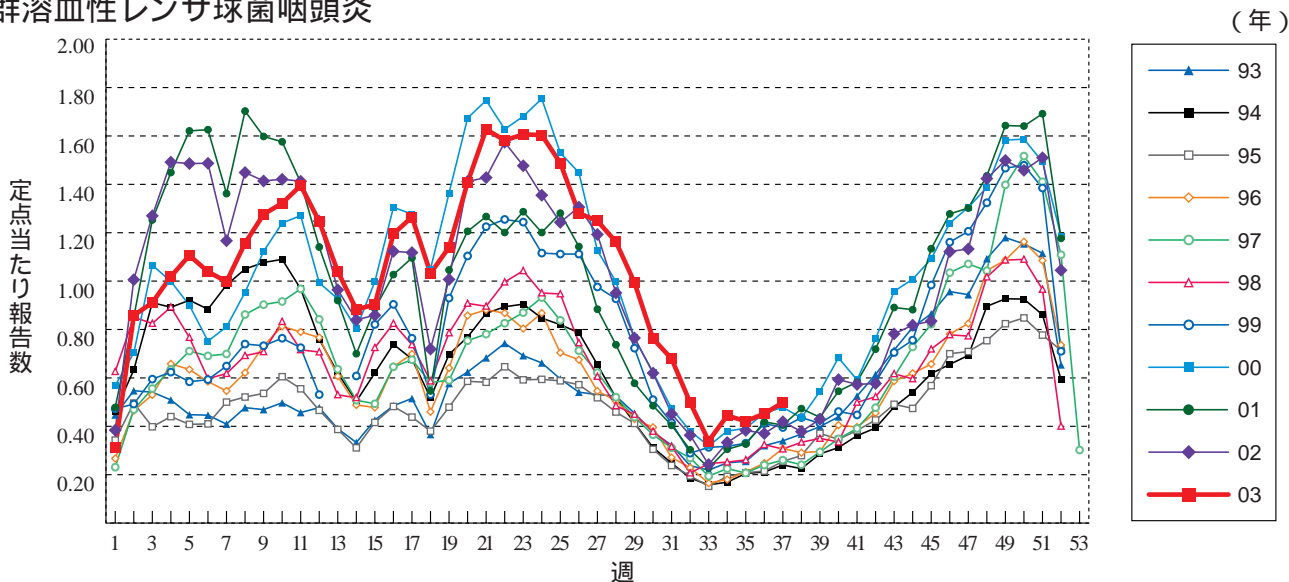
インフルエンザ



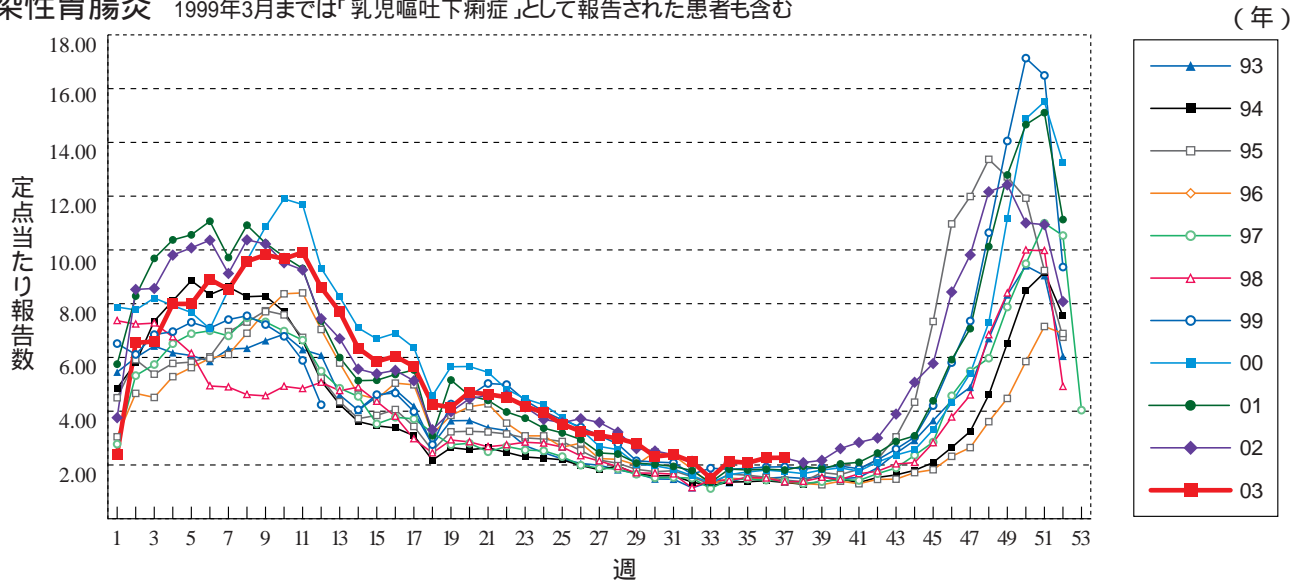
咽頭結膜熱



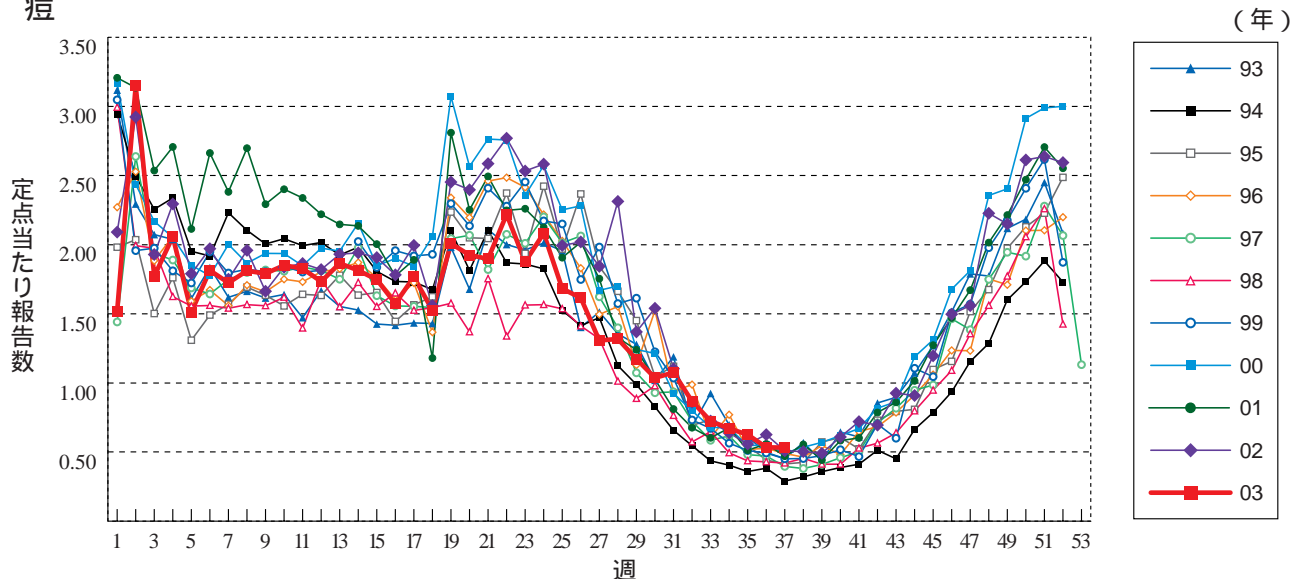
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



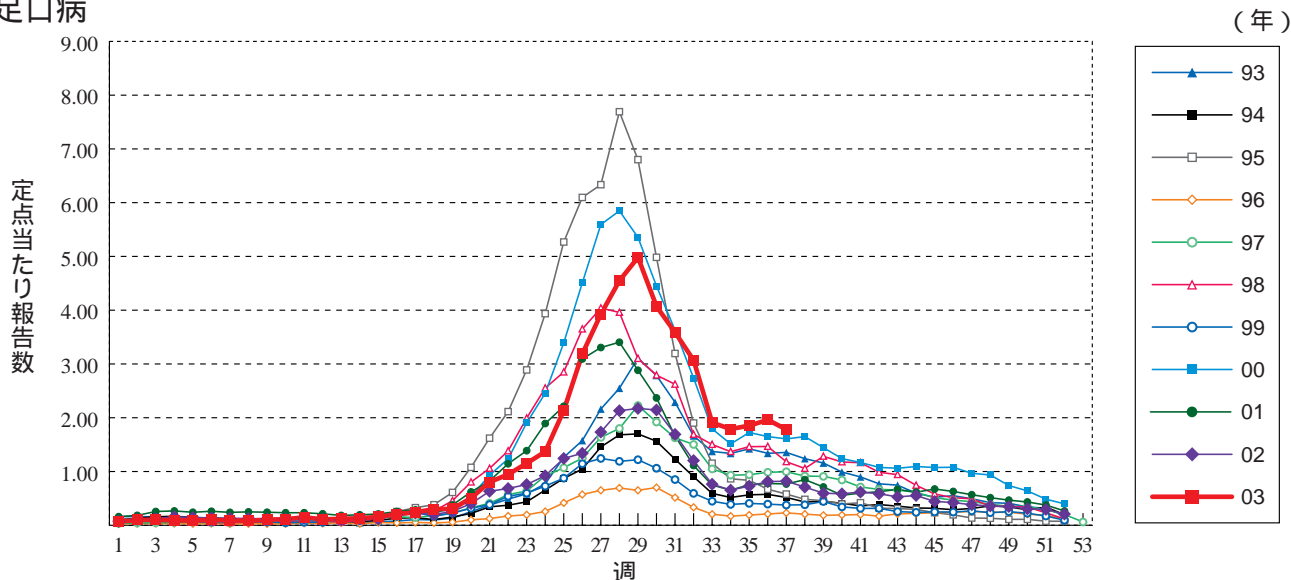
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



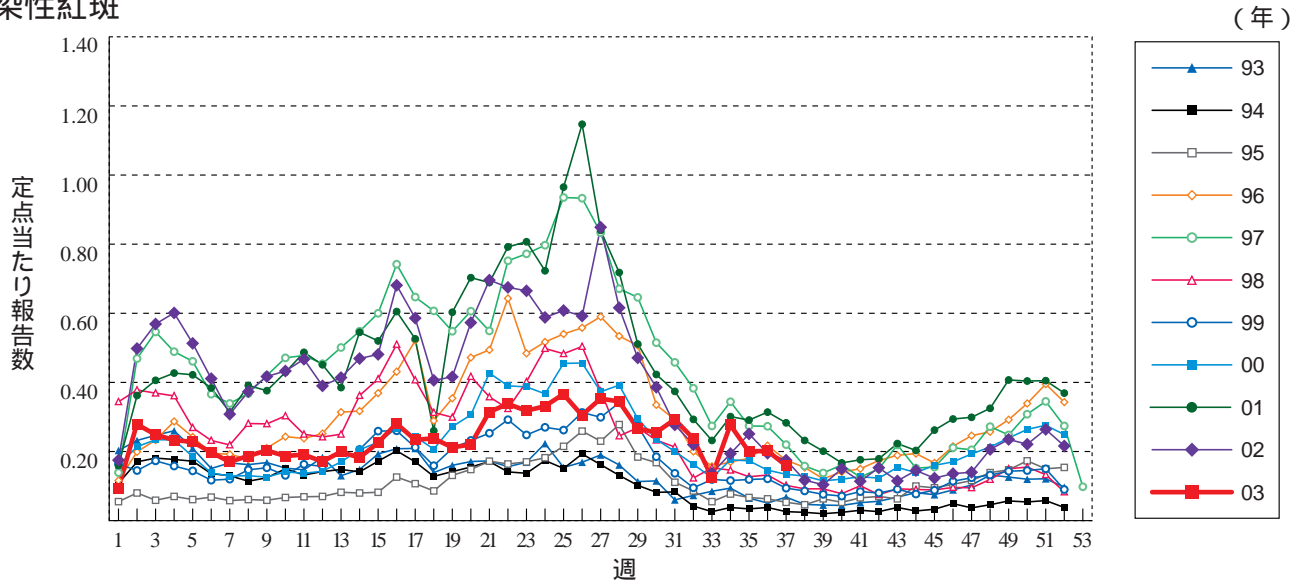
水痘



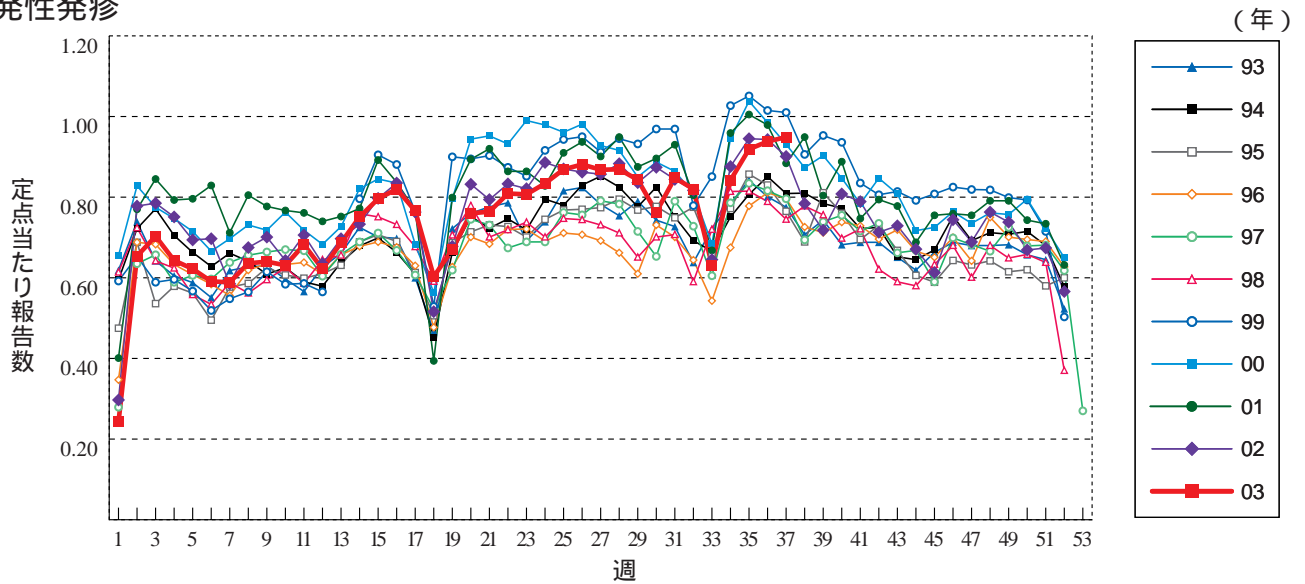
手足口病



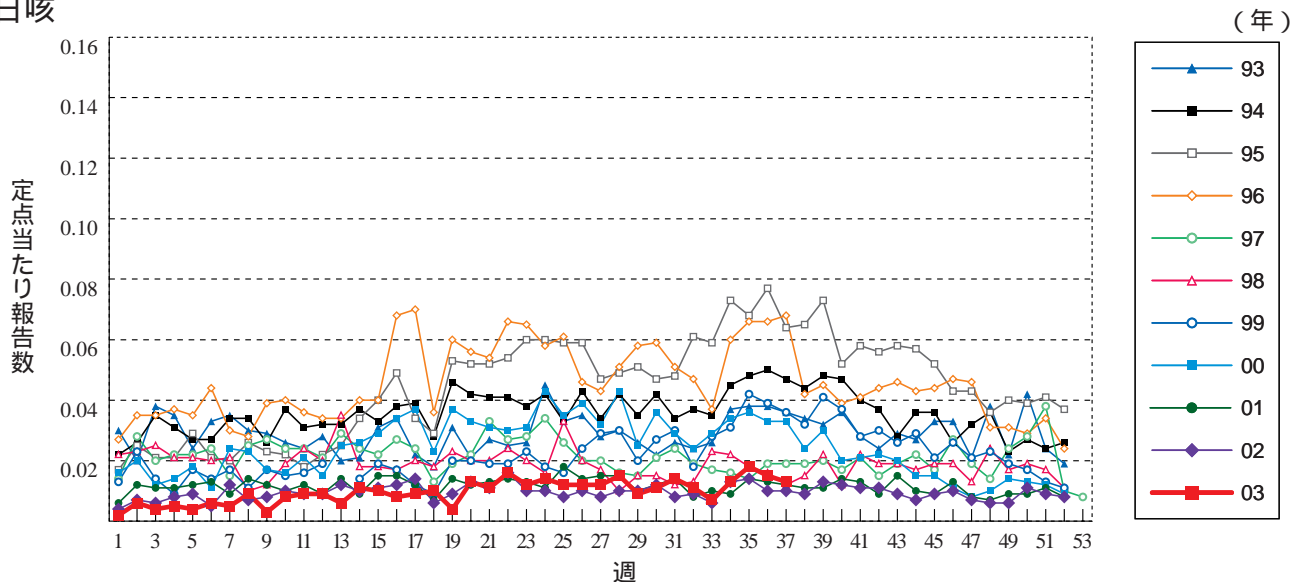
伝染性紅斑



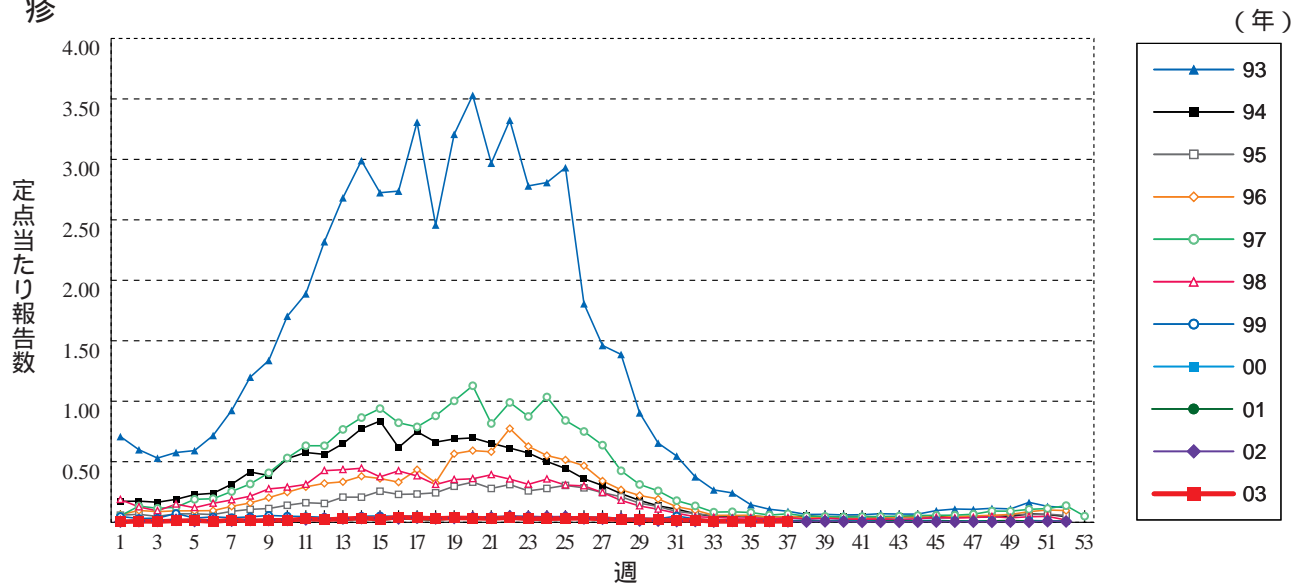
突発性発疹



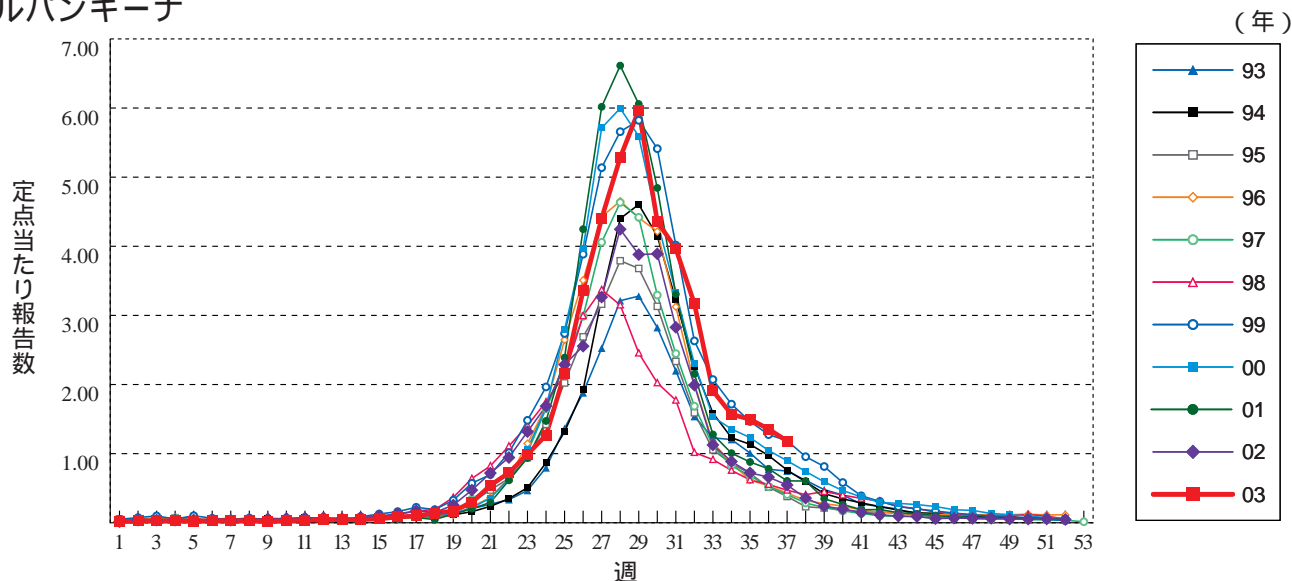
百日咳



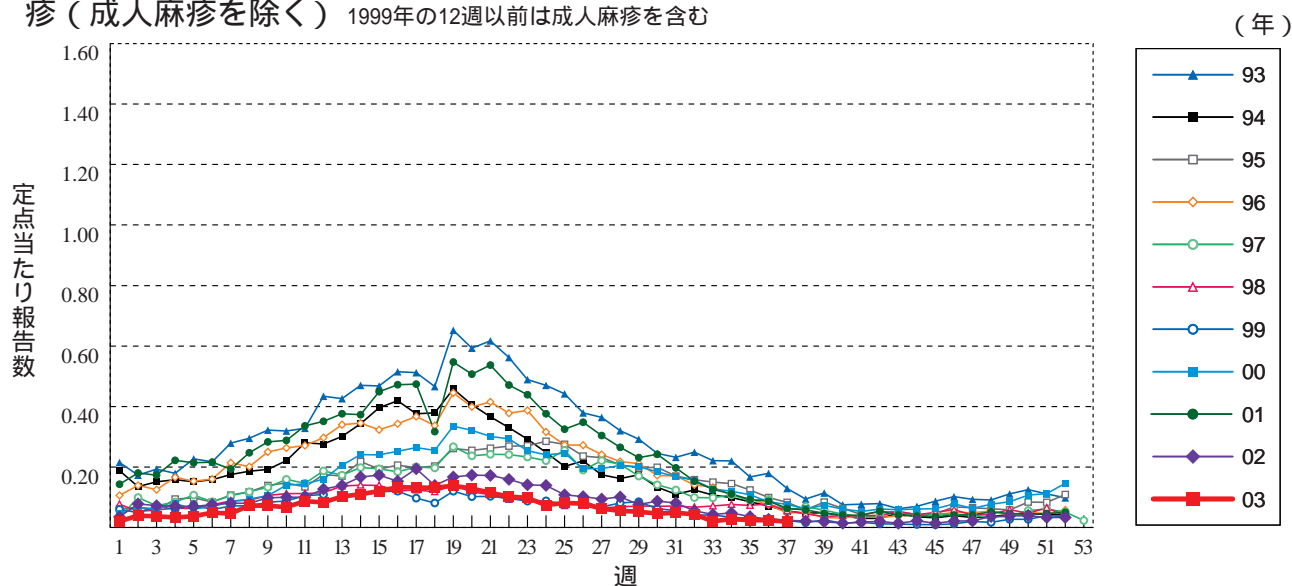
風 疹



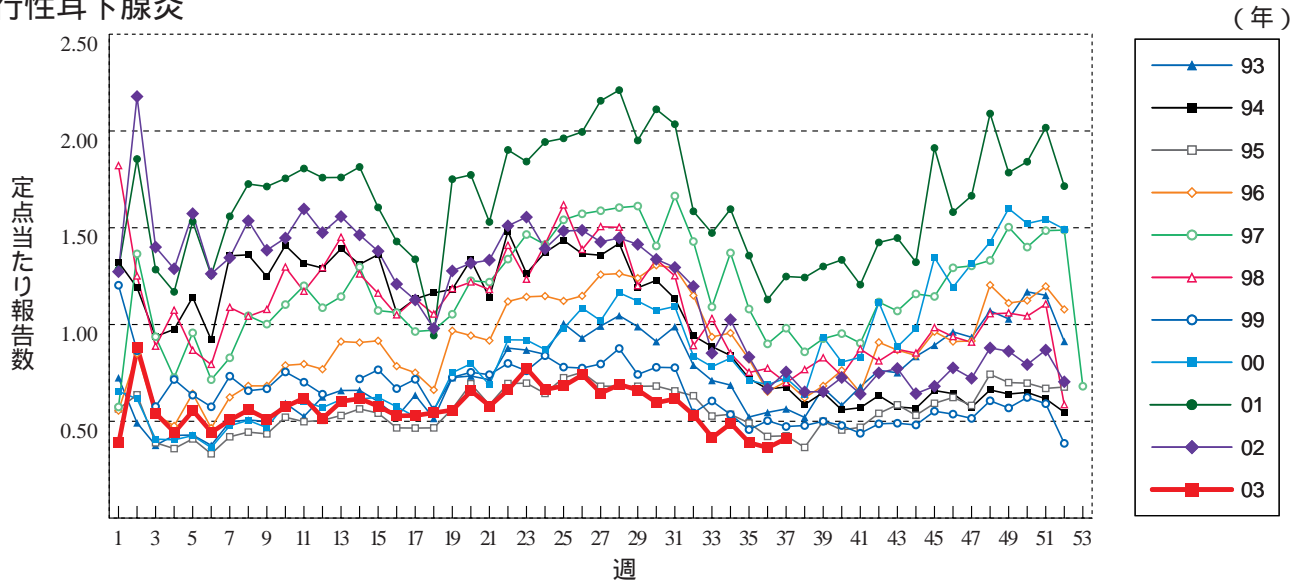
ヘルパンギーナ



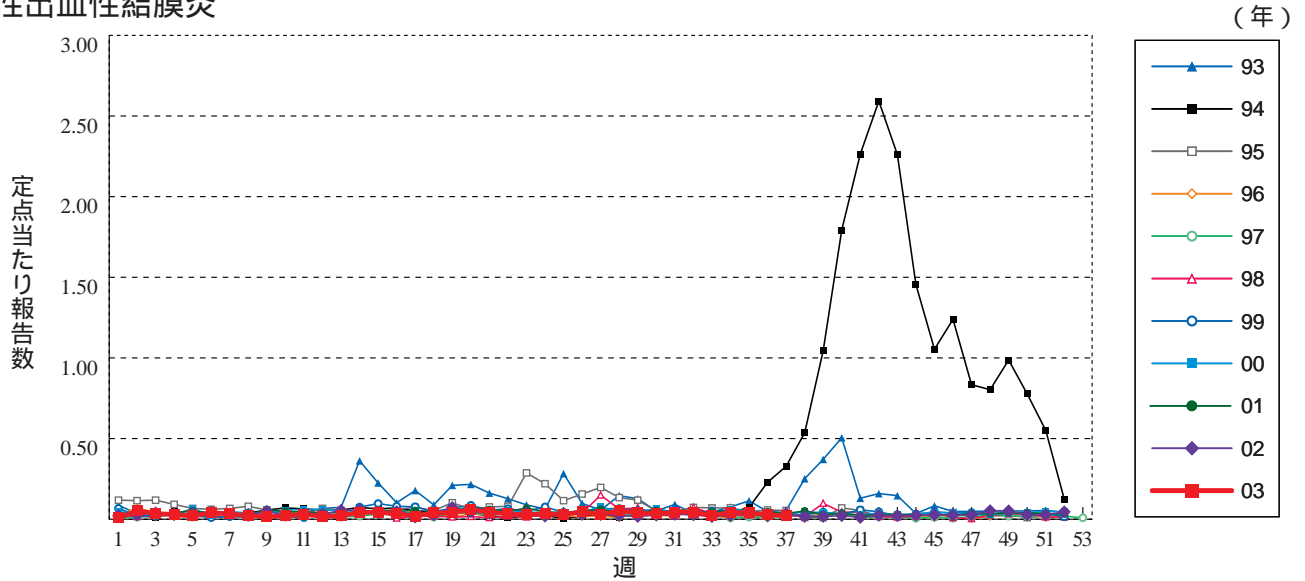
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



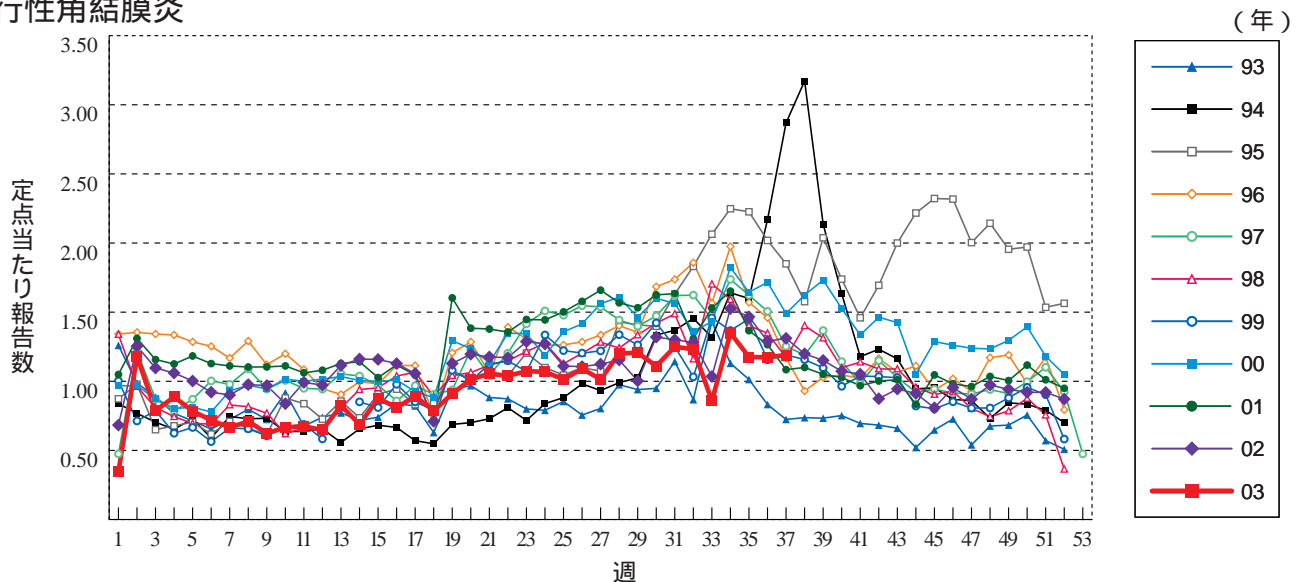
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

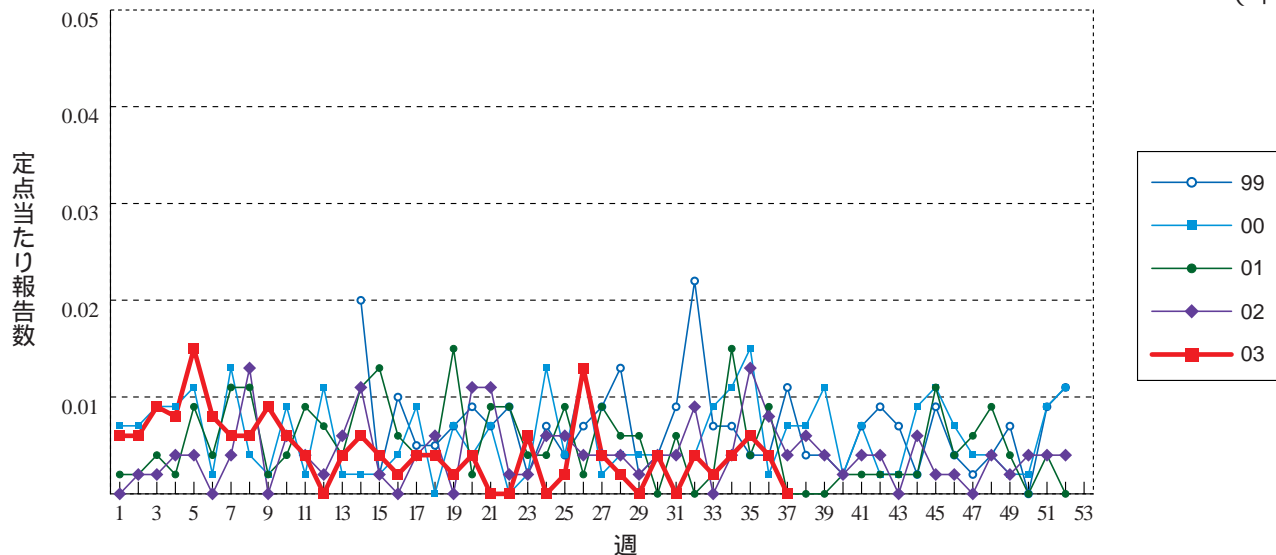


流行性角結膜炎



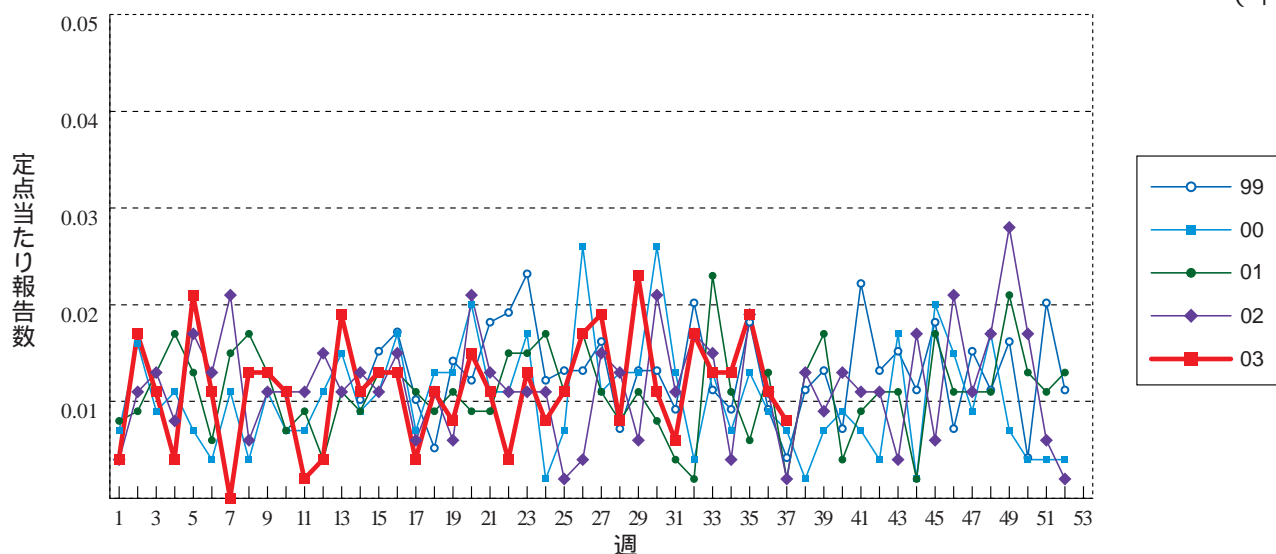
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



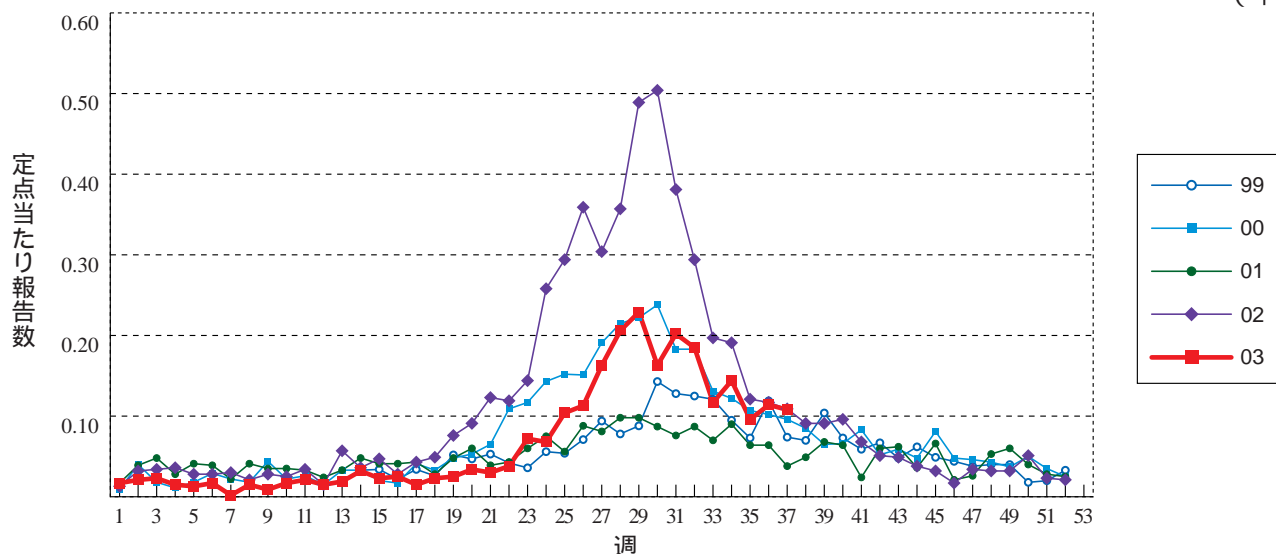
細菌性髄膜炎

(年)



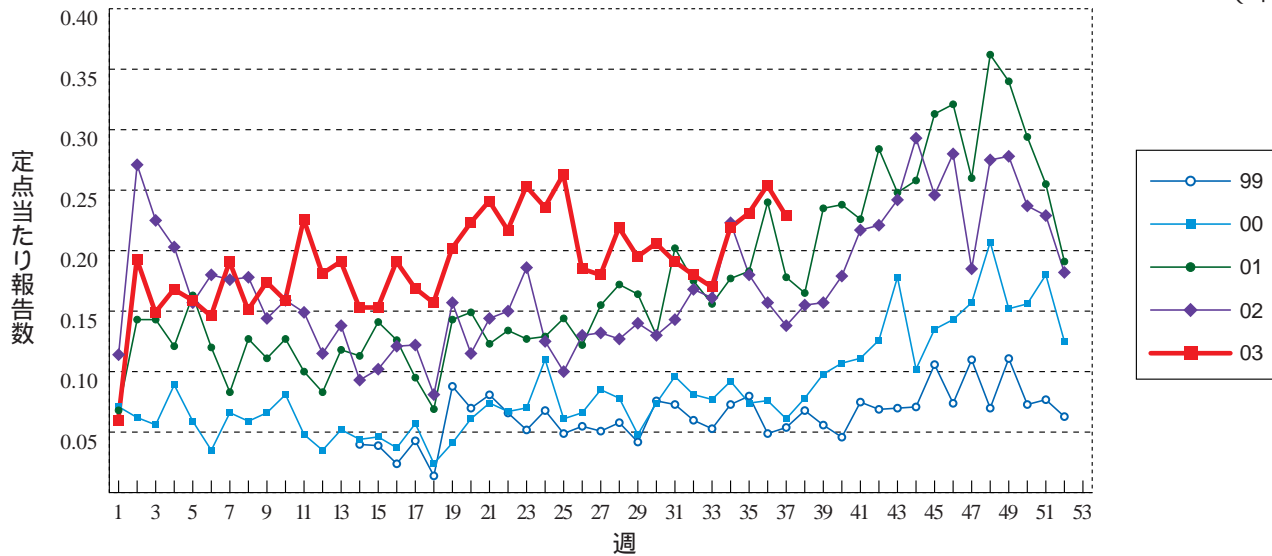
無菌性髄膜炎

(年)



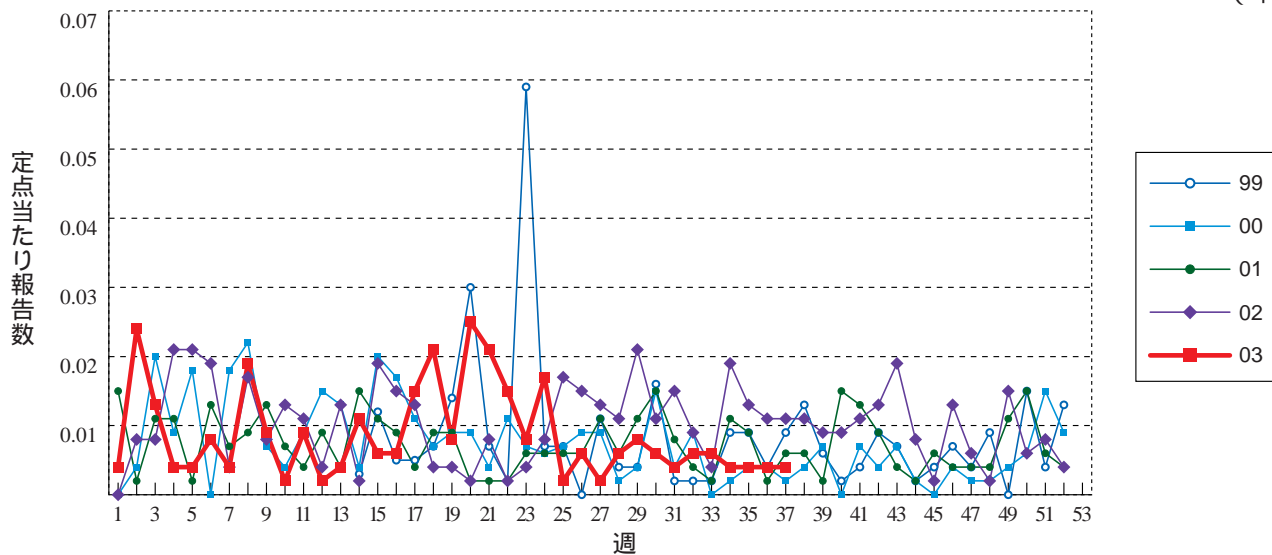
マイコプラズマ肺炎

(年)



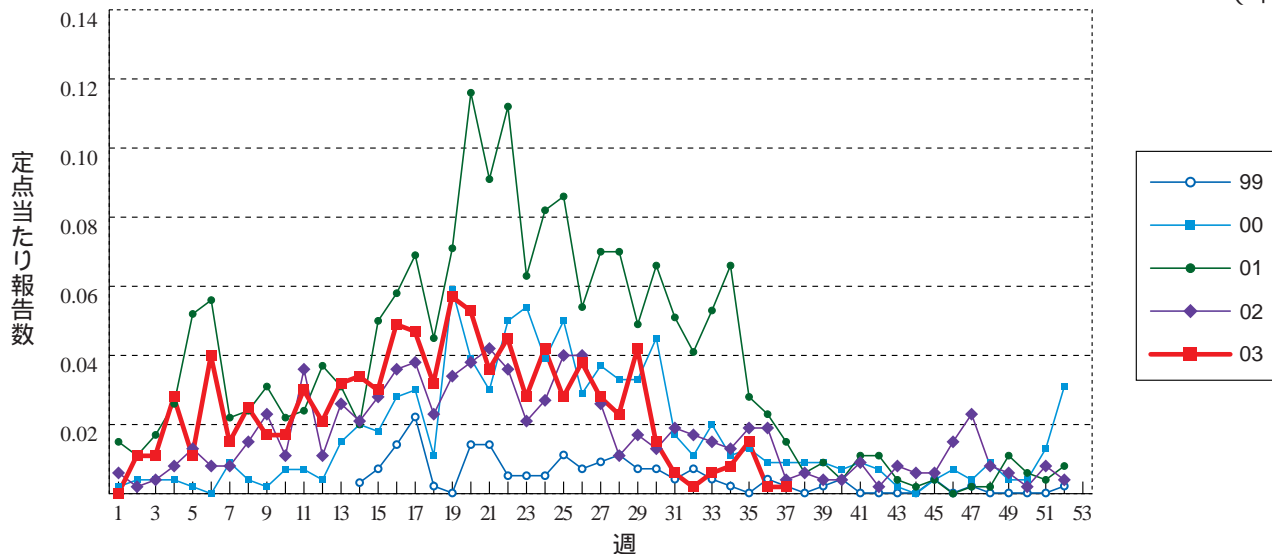
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

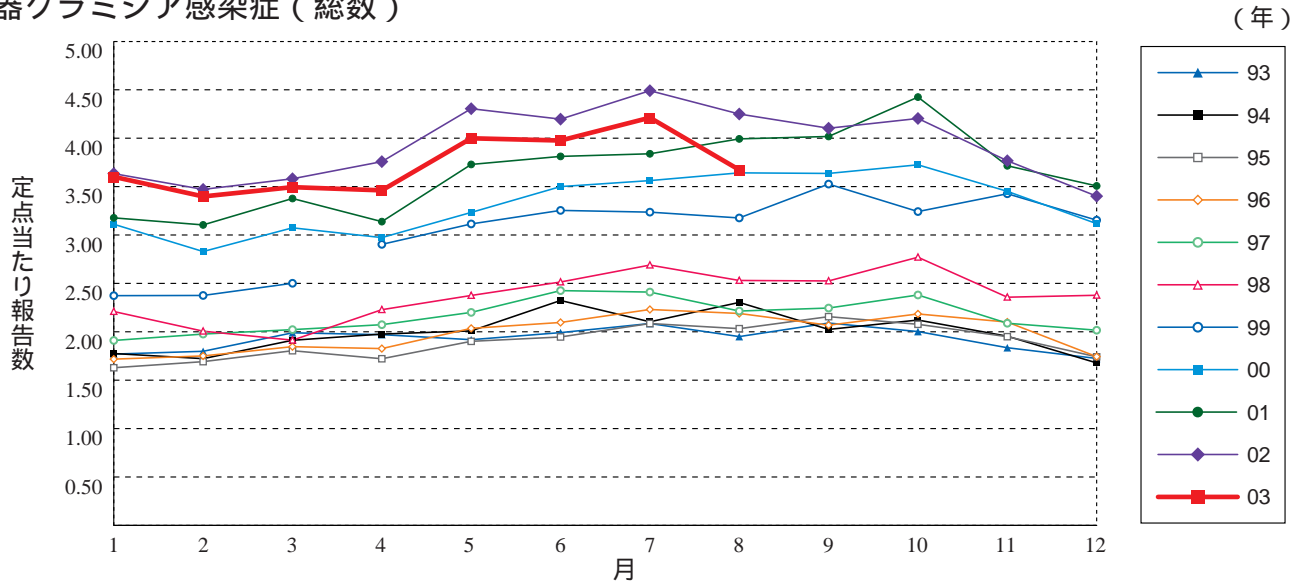




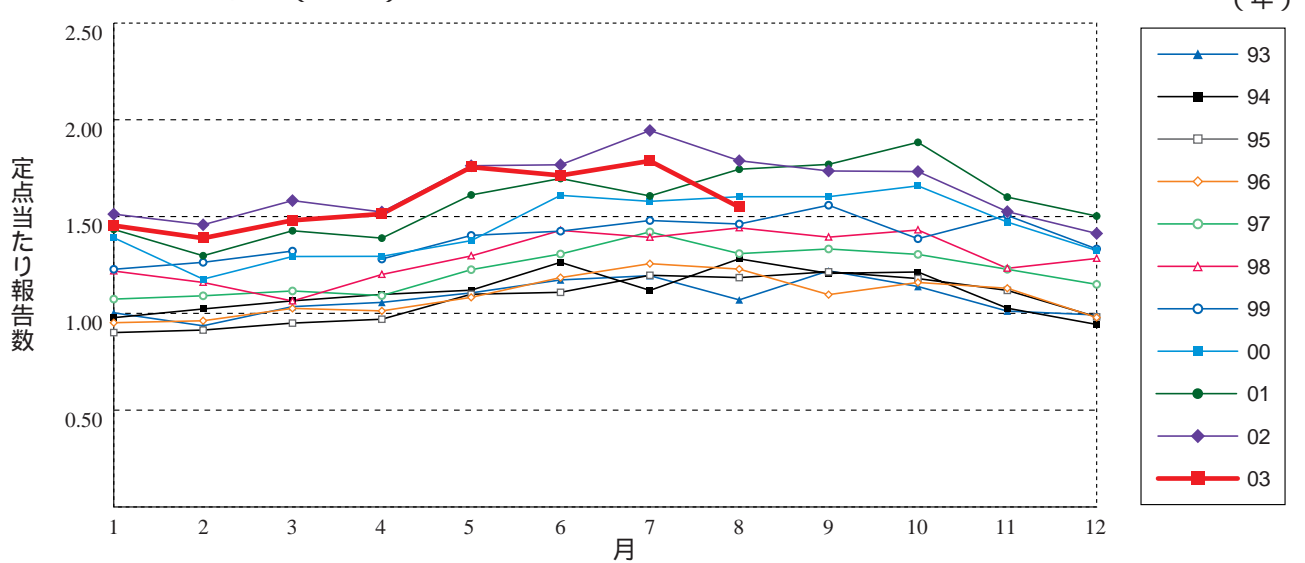
グラフ総覧(8月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

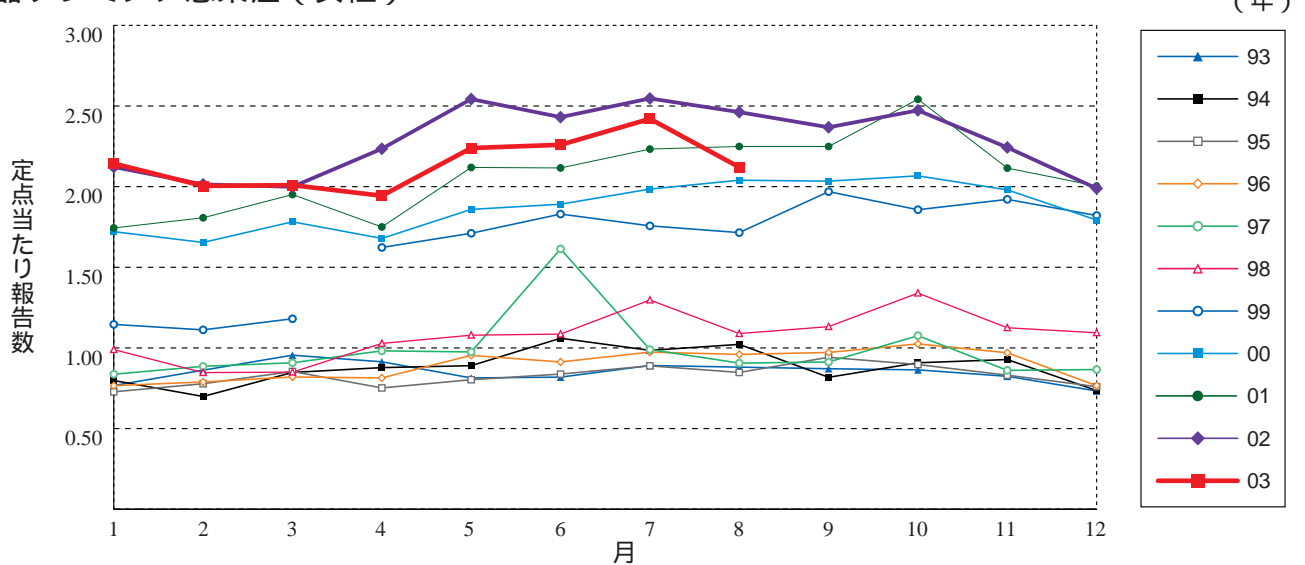
性器クラミジア感染症(総数)



性器クラミジア感染症(男性)

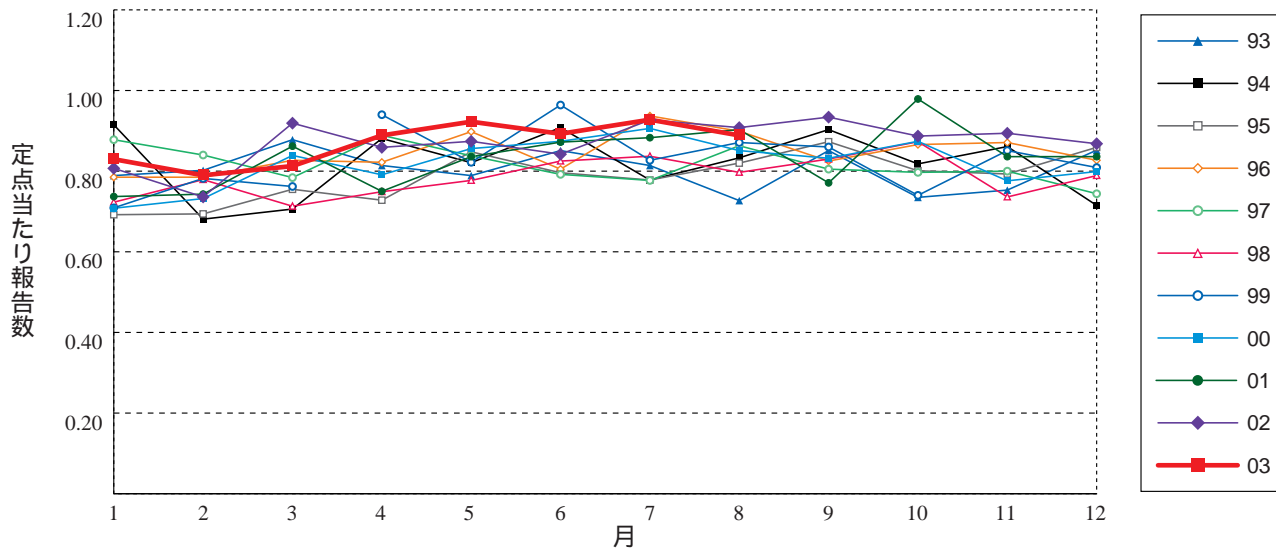


性器クラミジア感染症(女性)



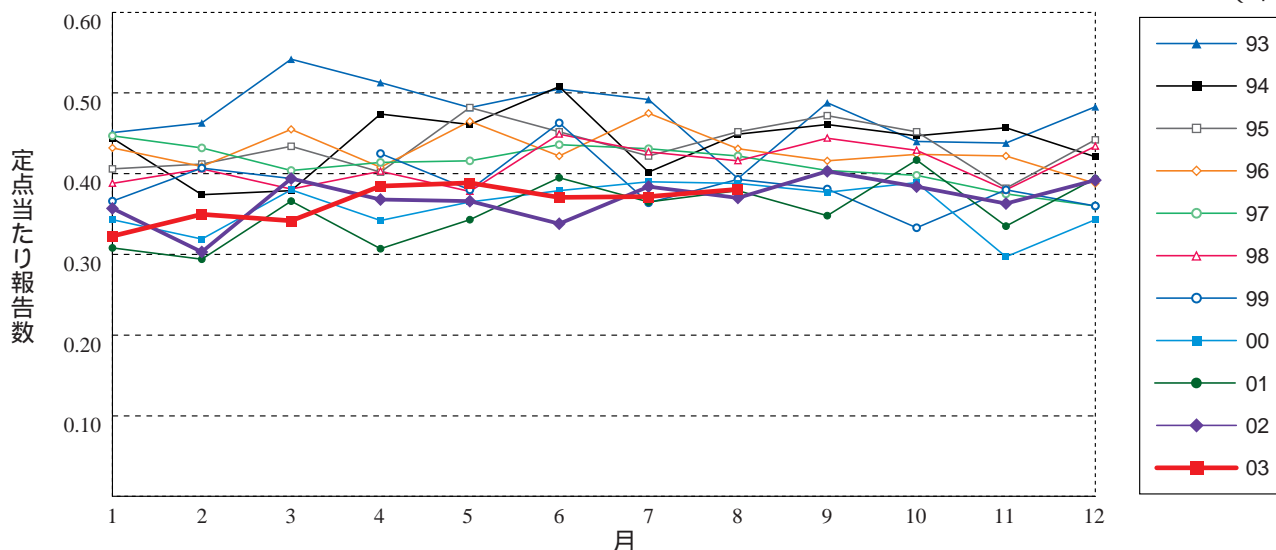
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）

（年）



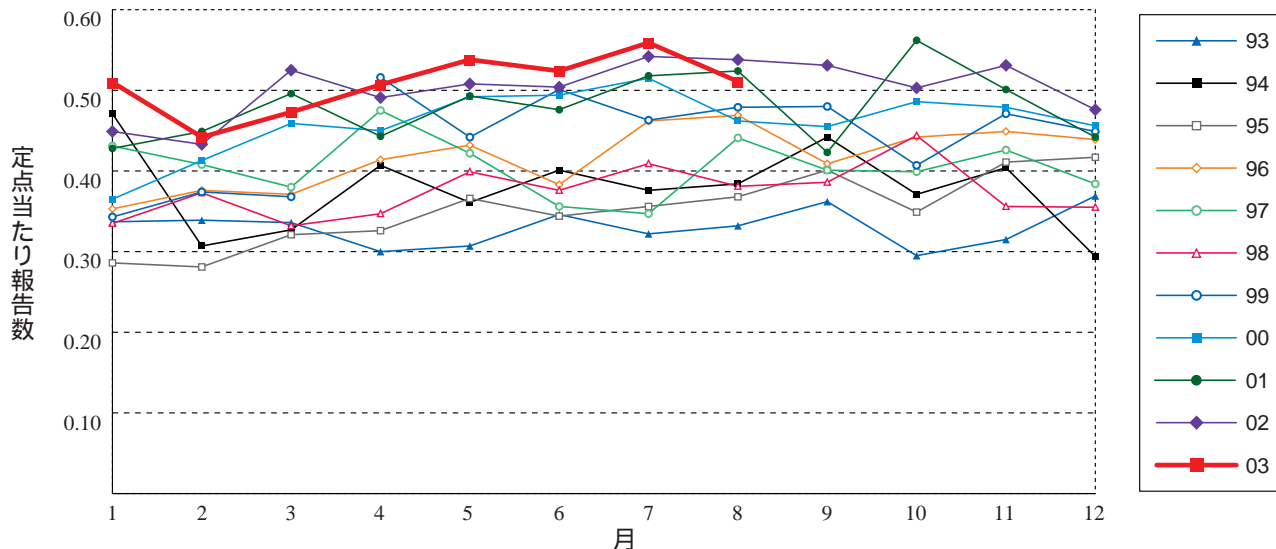
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）

（年）

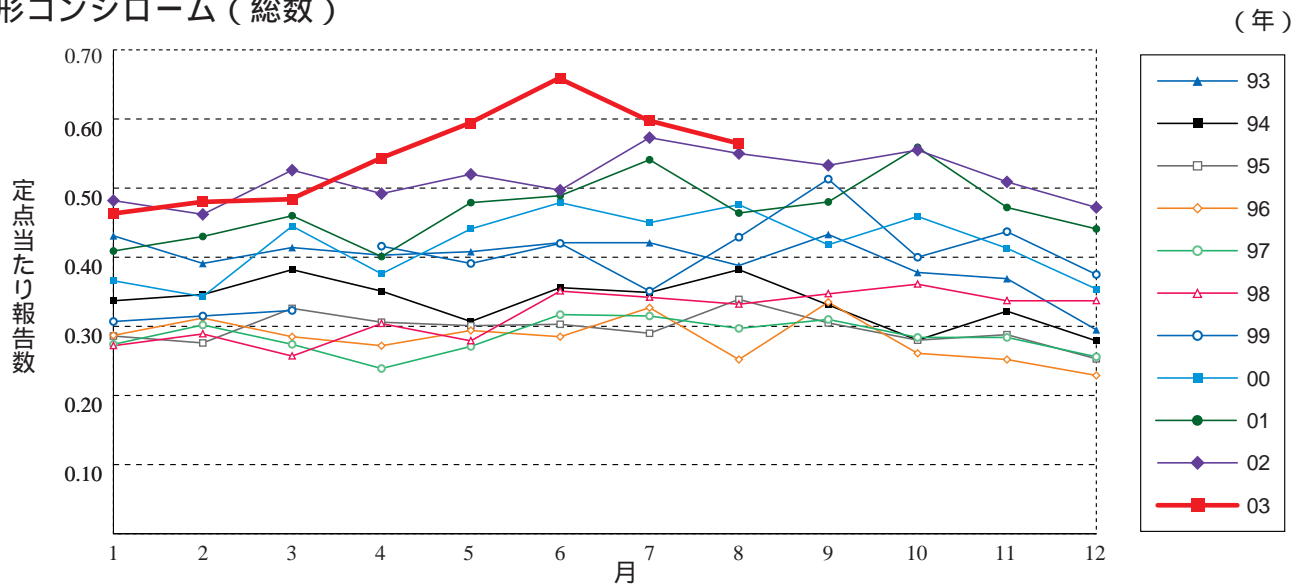


性器ヘルペスウイルス感染症（女性）

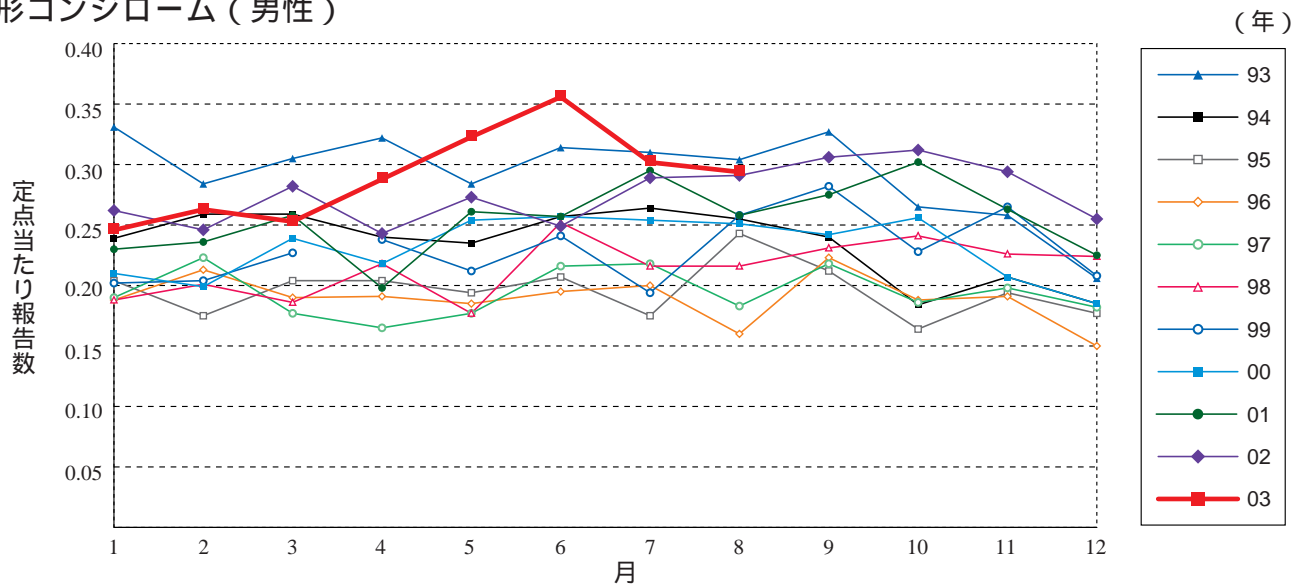
（年）



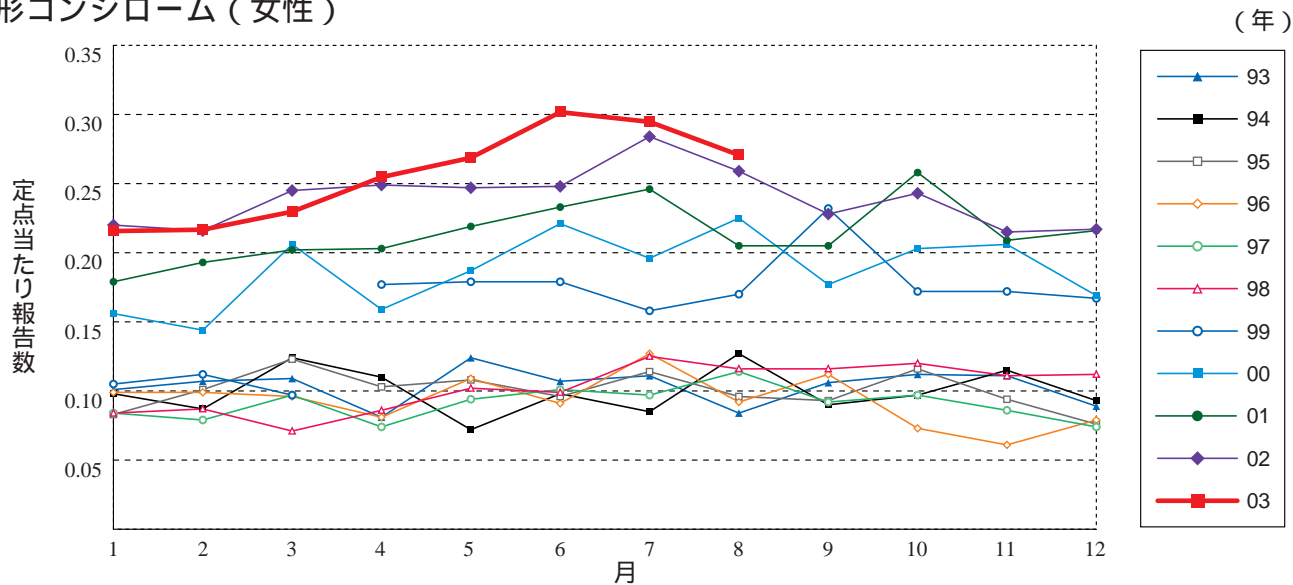
尖形コンジローム (総数)



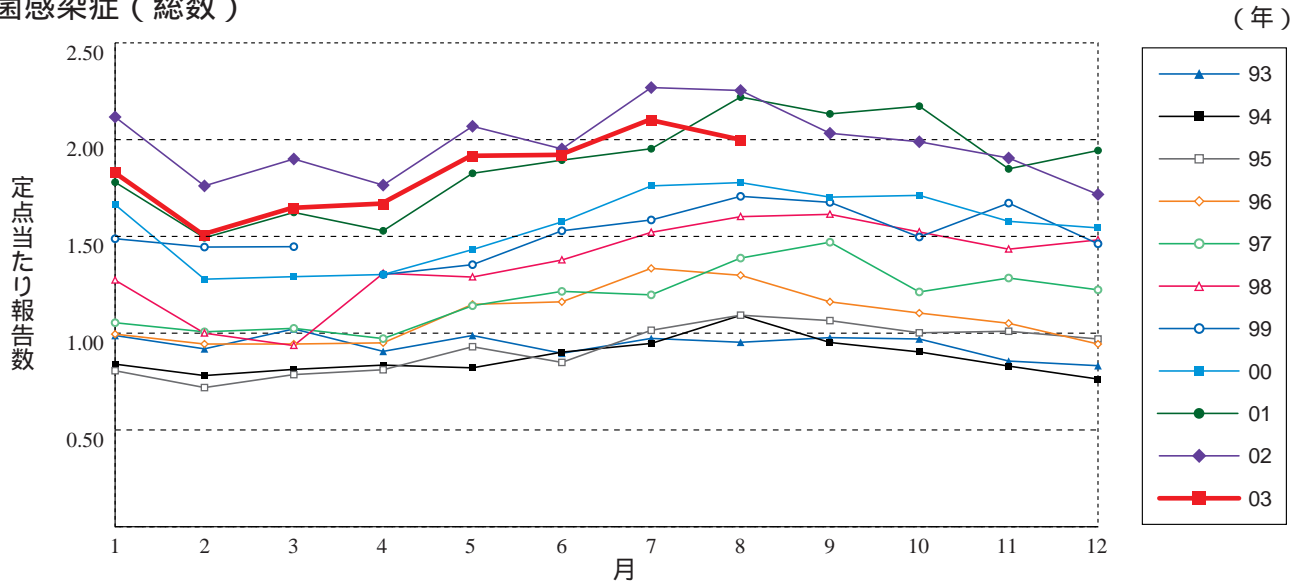
尖形コンジローム (男性)



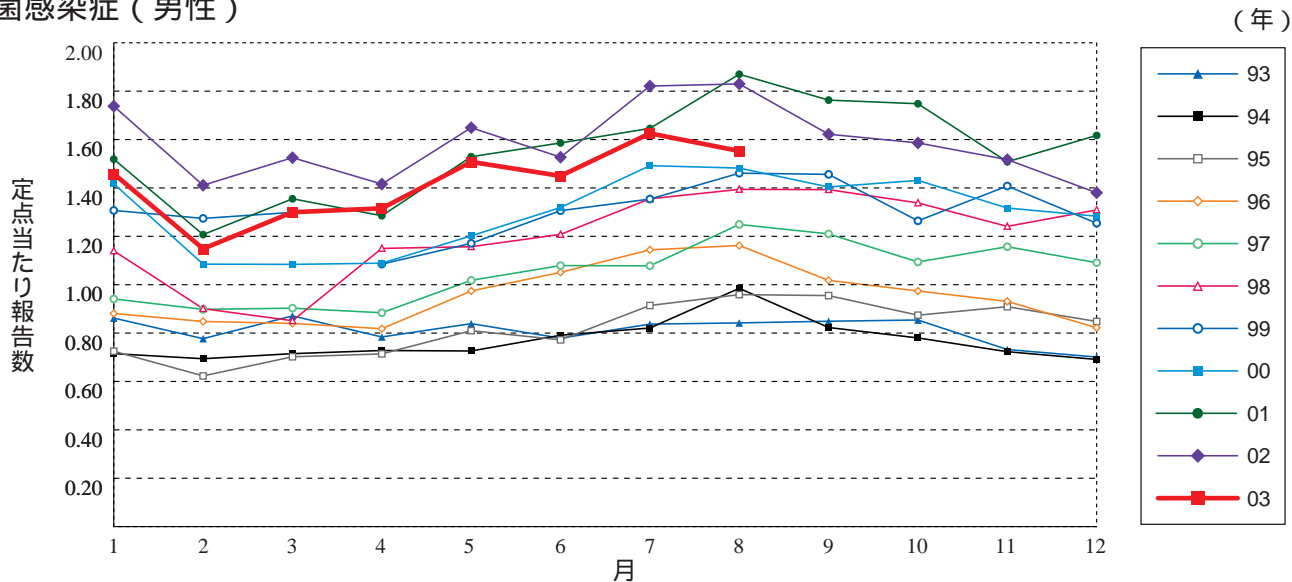
尖形コンジローム (女性)



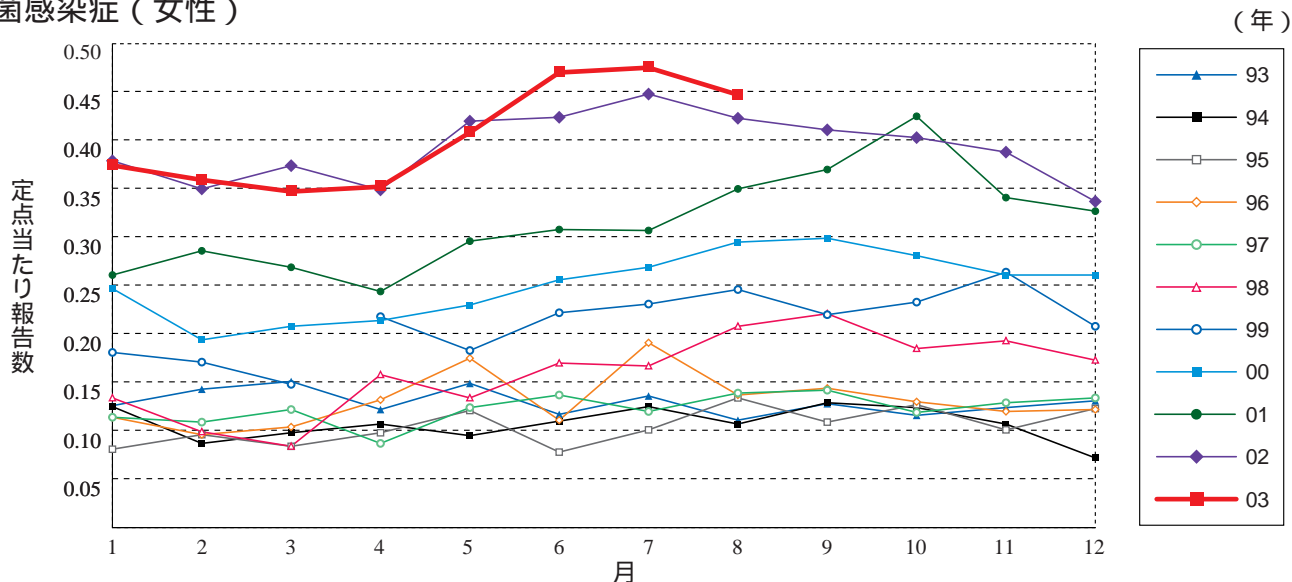
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

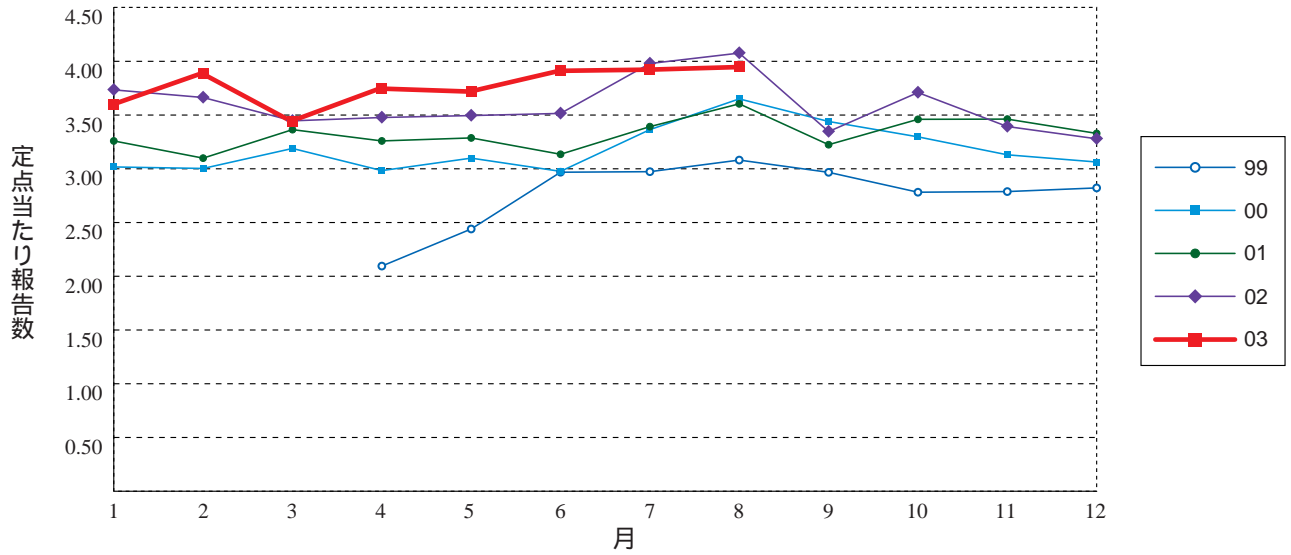


淋菌感染症（女性）



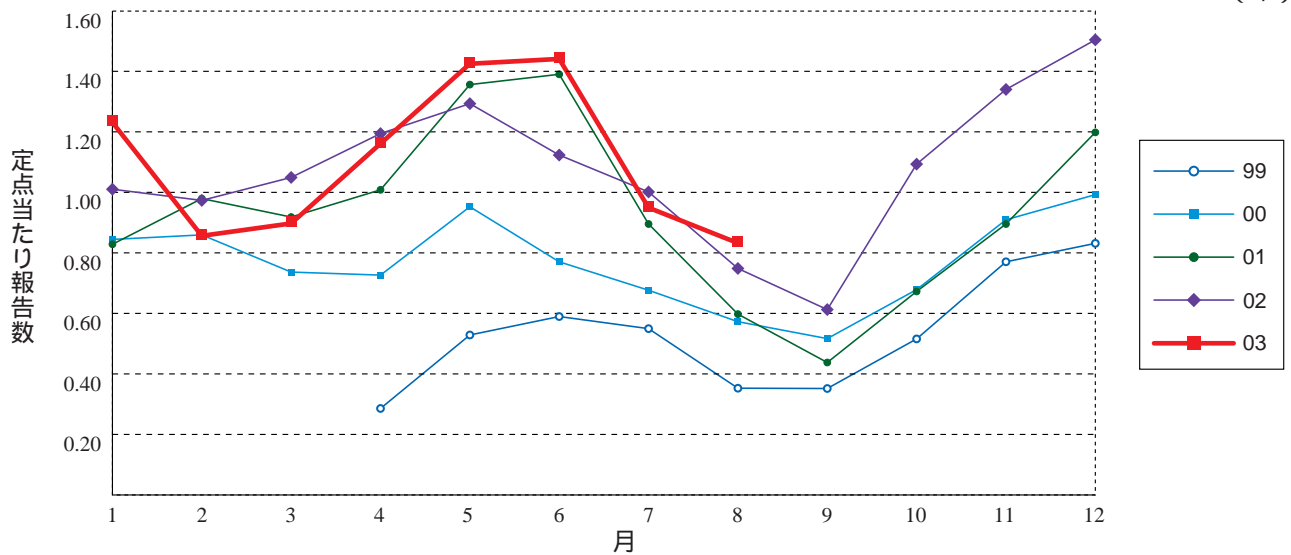
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



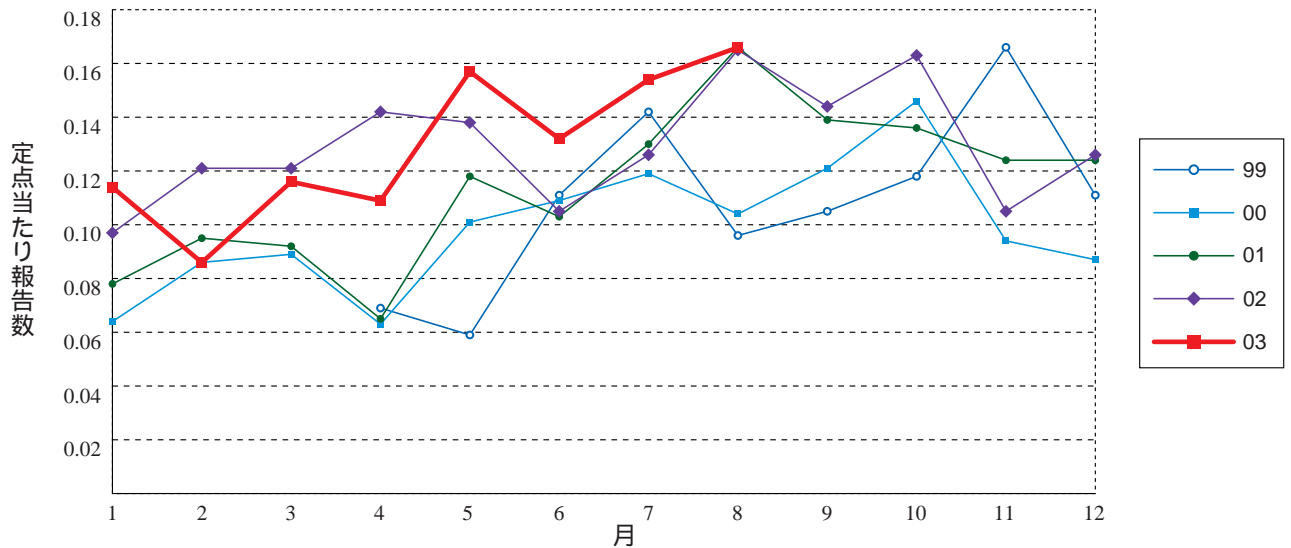
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





8月のデータ 注)9月10日集計分

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成15年8月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3376	3.67	819	0.89	520	0.57	1838	2.00	1856	3.95	394	0.84	78	0.17
北海道	254	6.05	37	0.88	28	0.67	157	3.74	45	1.96	1	0.04	9	0.39
青森県	51	4.64	8	0.73	10	0.91	19	1.73	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	51	3.92	9	0.69	10	0.77	15	1.15	118	5.90	20	1.00	15	0.75
宮城県	82	4.82	17	1.00	24	1.41	62	3.65	57	5.18	24	2.18	8	0.73
秋田県	55	3.93	5	0.36	4	0.29	22	1.57	28	4.00	3	0.43	1	0.14
山形県	39	3.90	6	0.60	6	0.60	24	2.40	38	3.80	15	1.50	-	-
福島県	57	3.56	18	1.13	13	0.81	40	2.50	13	1.86	5	0.71	-	-
茨城県	134	6.38	15	0.71	5	0.24	31	1.48	18	1.64	-	-	-	-
栃木県	75	4.69	26	1.63	28	1.75	39	2.44	56	8.00	2	0.29	-	-
群馬県	125	5.00	17	0.68	8	0.32	33	1.32	44	4.40	1	0.10	3	0.30
埼玉県	225	4.41	44	0.86	18	0.35	60	1.18	32	3.56	5	0.56	2	0.22
千葉県	123	3.32	25	0.68	23	0.62	36	0.97	38	4.22	56	6.22	3	0.33
東京都	164	4.00	54	1.32	40	0.98	100	2.44	133	5.32	34	1.36	3	0.12
神奈川県	56	0.93	26	0.43	8	0.13	28	0.47	22	2.00	18	1.64	-	-
新潟県	27	1.35	14	0.70	11	0.55	29	1.45	39	3.00	20	1.54	-	-
富山県	19	2.71	7	1.00	3	0.43	12	1.71	33	6.60	16	3.20	3	0.60
石川県	19	1.90	10	1.00	7	0.70	15	1.50	12	2.40	3	0.60	-	-
福井県	11	2.20	3	0.60	3	0.60	7	1.40	25	3.13	10	1.25	1	0.13
山梨県	8	1.33	2	0.33	2	0.33	5	0.83	18	1.80	7	0.70	1	0.10
長野県	61	3.81	8	0.50	7	0.44	24	1.50	35	3.18	3	0.27	-	-
岐阜県	30	2.00	7	0.47	4	0.27	19	1.27	11	2.20	-	-	-	-
静岡県	88	2.93	26	0.87	8	0.27	16	0.53	58	5.80	13	1.30	-	-
愛知県	161	3.16	55	1.08	33	0.65	144	2.82	56	4.00	-	-	-	-
三重県	26	1.73	8	0.53	4	0.27	12	0.80	40	4.44	-	-	-	-
滋賀県	13	1.44	2	0.22	6	0.67	6	0.67	50	7.14	-	-	-	-
京都府	59	2.57	5	0.22	4	0.17	15	0.65	6	1.00	-	-	-	-
大阪府	320	5.33	139	2.32	84	1.40	279	4.65	48	3.43	2	0.14	1	0.07
兵庫県	109	2.42	22	0.49	13	0.29	67	1.49	33	2.36	6	0.43	1	0.07
奈良県	17	1.89	3	0.33	1	0.11	6	0.67	47	7.83	11	1.83	-	-
和歌山県	14	1.75	4	0.50	4	0.50	10	1.25	49	4.45	11	1.00	3	0.27
鳥取県	17	3.40	-	-	2	0.40	4	0.80	28	5.60	-	-	1	0.20
島根県	10	1.43	2	0.29	2	0.29	18	2.57	53	7.57	22	3.14	-	-
岡山県	101	5.94	14	0.82	15	0.88	73	4.29	11	2.20	-	-	3	0.60
広島県	49	1.81	21	0.78	9	0.33	22	0.81	131	6.24	23	1.10	8	0.38
山口県	37	3.08	11	0.92	1	0.08	21	1.75	73	8.11	14	1.56	2	0.22
徳島県	16	2.67	8	1.33	3	0.50	2	0.33	7	1.00	-	-	-	-
香川県	42	4.67	5	0.56	3	0.33	12	1.33	28	5.60	3	0.60	1	0.20
愛媛県	29	2.64	6	0.55	6	0.55	13	1.18	24	4.00	1	0.17	4	0.67
高知県	5	0.83	3	0.50	1	0.17	4	0.67	51	6.38	4	0.50	1	0.13
福岡県	219	5.92	51	1.38	29	0.78	135	3.65	28	1.75	6	0.38	-	-
佐賀県	31	4.43	8	1.14	2	0.29	16	2.29	30	5.00	3	0.50	-	-
長崎県	25	2.50	16	1.60	6	0.60	17	1.70	5	0.50	-	-	1	0.10
熊本県	80	5.71	19	1.36	5	0.36	38	2.71	57	3.80	3	0.20	-	-
大分県	11	1.10	13	1.30	2	0.20	7	0.70	62	6.20	18	1.80	3	0.30
宮崎県	67	6.09	5	0.45	-	-	45	4.09	11	1.57	3	0.43	-	-
鹿児島県	84	5.25	12	0.75	9	0.56	64	4.00	19	1.58	5	0.42	-	-
沖縄県	80	6.67	3	0.25	6	0.50	15	1.25	32	4.57	3	0.43	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成15年8月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1426	1.55	350	0.38	271	0.29	1426	1.55	1194	2.54	237	0.50	53	0.11
北海道	65	1.55	5	0.12	9	0.21	72	1.71	29	1.26	1	0.04	7	0.30
青森県	17	1.55	4	0.36	3	0.27	12	1.09	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	17	1.31	1	0.08	6	0.46	12	0.92	65	3.25	11	0.55	10	0.50
宮城県	44	2.59	4	0.24	14	0.82	55	3.24	40	3.64	17	1.55	6	0.55
秋田県	23	1.64	-	-	3	0.21	18	1.29	21	3.00	1	0.14	1	0.14
山形県	20	2.00	-	-	1	0.10	21	2.10	24	2.40	10	1.00	-	-
福島県	17	1.06	7	0.44	2	0.13	33	2.06	8	1.14	1	0.14	-	-
茨城県	72	3.43	7	0.33	3	0.14	27	1.29	9	0.82	-	-	-	-
栃木県	46	2.88	21	1.31	22	1.38	36	2.25	36	5.14	1	0.14	-	-
群馬県	73	2.92	4	0.16	3	0.12	26	1.04	32	3.20	-	-	2	0.20
埼玉県	66	1.29	17	0.33	9	0.18	50	0.98	18	2.00	5	0.56	1	0.11
千葉県	45	1.22	13	0.35	14	0.38	31	0.84	29	3.22	34	3.78	2	0.22
東京都	72	1.76	24	0.59	25	0.61	79	1.93	87	3.48	25	1.00	3	0.12
神奈川県	32	0.53	10	0.17	2	0.03	26	0.43	13	1.18	10	0.91	-	-
新潟県	18	0.90	10	0.50	6	0.30	27	1.35	23	1.77	10	0.77	-	-
富山県	13	1.86	5	0.71	1	0.14	10	1.43	21	4.20	8	1.60	2	0.40
石川県	7	0.70	6	0.60	6	0.60	11	1.10	9	1.80	2	0.40	-	-
福井県	6	1.20	3	0.60	3	0.60	7	1.40	17	2.13	7	0.88	1	0.13
山梨県	3	0.50	-	-	1	0.17	4	0.67	12	1.20	4	0.40	1	0.10
長野県	18	1.13	1	0.06	-	-	20	1.25	20	1.82	3	0.27	-	-
岐阜県	11	0.73	6	0.40	4	0.27	18	1.20	6	1.20	-	-	-	-
静岡県	21	0.70	4	0.13	2	0.07	13	0.43	40	4.00	10	1.00	-	-
愛知県	105	2.06	39	0.76	24	0.47	137	2.69	39	2.79	-	-	-	-
三重県	11	0.73	5	0.33	2	0.13	11	0.73	19	2.11	-	-	-	-
滋賀県	7	0.78	1	0.11	2	0.22	5	0.56	21	3.00	-	-	-	-
京都府	11	0.48	1	0.04	2	0.09	3	0.13	3	0.50	-	-	-	-
大阪府	135	2.25	66	1.10	44	0.73	192	3.20	32	2.29	1	0.07	-	-
兵庫県	55	1.22	7	0.16	11	0.24	56	1.24	20	1.43	5	0.36	1	0.07
奈良県	13	1.44	3	0.33	-	-	5	0.56	40	6.67	9	1.50	-	-
和歌山県	8	1.00	1	0.13	3	0.38	8	1.00	34	3.09	6	0.55	2	0.18
鳥取県	3	0.60	-	-	-	-	3	0.60	16	3.20	-	-	1	0.20
島根県	6	0.86	1	0.14	1	0.14	15	2.14	32	4.57	11	1.57	-	-
岡山県	30	1.76	5	0.29	7	0.41	55	3.24	8	1.60	-	-	2	0.40
広島県	22	0.81	11	0.41	1	0.04	18	0.67	86	4.10	12	0.57	4	0.19
山口県	18	1.50	-	-	-	-	16	1.33	50	5.56	9	1.00	2	0.22
徳島県	15	2.50	7	1.17	3	0.50	2	0.33	3	0.43	-	-	-	-
香川県	13	1.44	3	0.33	3	0.33	8	0.89	19	3.80	2	0.40	1	0.20
愛媛県	6	0.55	5	0.45	3	0.27	9	0.82	18	3.00	1	0.17	2	0.33
高知県	2	0.33	-	-	-	-	2	0.33	30	3.75	3	0.38	-	-
福岡県	100	2.70	13	0.35	12	0.32	100	2.70	18	1.13	2	0.13	-	-
佐賀県	24	3.43	2	0.29	1	0.14	14	2.00	24	4.00	2	0.33	-	-
長崎県	8	0.80	4	0.40	3	0.30	13	1.30	1	0.10	-	-	1	0.10
熊本県	25	1.79	10	0.71	3	0.21	30	2.14	40	2.67	2	0.13	-	-
大分県	4	0.40	4	0.40	-	-	5	0.50	45	4.50	8	0.80	1	0.10
宮崎県	29	2.64	2	0.18	-	-	43	3.91	6	0.86	2	0.29	-	-
鹿児島県	61	3.81	8	0.50	7	0.44	58	3.63	11	0.92	2	0.17	-	-
沖縄県	9	0.75	-	-	-	-	10	0.83	16	2.29	-	-	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成15年8月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1950	2.12	469	0.51	249	0.27	412	0.45	662	1.41	157	0.33	25	0.05
北海道	189	4.50	32	0.76	19	0.45	85	2.02	16	0.70	-	-	2	0.09
青森県	34	3.09	4	0.36	7	0.64	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	34	2.62	8	0.62	4	0.31	3	0.23	53	2.65	9	0.45	5	0.25
宮城県	38	2.24	13	0.76	10	0.59	7	0.41	17	1.55	7	0.64	2	0.18
秋田県	32	2.29	5	0.36	1	0.07	4	0.29	7	1.00	2	0.29	-	-
山形県	19	1.90	6	0.60	5	0.50	3	0.30	14	1.40	5	0.50	-	-
福島県	40	2.50	11	0.69	11	0.69	7	0.44	5	0.71	4	0.57	-	-
茨城県	62	2.95	8	0.38	2	0.10	4	0.19	9	0.82	-	-	-	-
栃木県	29	1.81	5	0.31	6	0.38	3	0.19	20	2.86	1	0.14	-	-
群馬県	52	2.08	13	0.52	5	0.20	7	0.28	12	1.20	1	0.10	1	0.10
埼玉県	159	3.12	27	0.53	9	0.18	10	0.20	14	1.56	-	-	1	0.11
千葉県	78	2.11	12	0.32	9	0.24	5	0.14	9	1.00	22	2.44	1	0.11
東京都	92	2.24	30	0.73	15	0.37	21	0.51	46	1.84	9	0.36	-	-
神奈川県	24	0.40	16	0.27	6	0.10	2	0.03	9	0.82	8	0.73	-	-
新潟県	9	0.45	4	0.20	5	0.25	2	0.10	16	1.23	10	0.77	-	-
富山県	6	0.86	2	0.29	2	0.29	2	0.29	12	2.40	8	1.60	1	0.20
石川県	12	1.20	4	0.40	1	0.10	4	0.40	3	0.60	1	0.20	-	-
福井県	5	1.00	-	-	-	-	-	-	8	1.00	3	0.38	-	-
山梨県	5	0.83	2	0.33	1	0.17	1	0.17	6	0.60	3	0.30	-	-
長野県	43	2.69	7	0.44	7	0.44	4	0.25	15	1.36	-	-	-	-
岐阜県	19	1.27	1	0.07	-	-	1	0.07	5	1.00	-	-	-	-
静岡県	67	2.23	22	0.73	6	0.20	3	0.10	18	1.80	3	0.30	-	-
愛知県	56	1.10	16	0.31	9	0.18	7	0.14	17	1.21	-	-	-	-
三重県	15	1.00	3	0.20	2	0.13	1	0.07	21	2.33	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	1	0.11	4	0.44	1	0.11	29	4.14	-	-	-	-
京都府	48	2.09	4	0.17	2	0.09	12	0.52	3	0.50	-	-	-	-
大阪府	185	3.08	73	1.22	40	0.67	87	1.45	16	1.14	1	0.07	1	0.07
兵庫県	54	1.20	15	0.33	2	0.04	11	0.24	13	0.93	1	0.07	-	-
奈良県	4	0.44	-	-	1	0.11	1	0.11	7	1.17	2	0.33	-	-
和歌山県	6	0.75	3	0.38	1	0.13	2	0.25	15	1.36	5	0.45	1	0.09
鳥取県	14	2.80	-	-	2	0.40	1	0.20	12	2.40	-	-	-	-
島根県	4	0.57	1	0.14	1	0.14	3	0.43	21	3.00	11	1.57	-	-
岡山県	71	4.18	9	0.53	8	0.47	18	1.06	3	0.60	-	-	1	0.20
広島県	27	1.00	10	0.37	8	0.30	4	0.15	45	2.14	11	0.52	4	0.19
山口県	19	1.58	11	0.92	1	0.08	5	0.42	23	2.56	5	0.56	-	-
徳島県	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	-
香川県	29	3.22	2	0.22	-	-	4	0.44	9	1.80	1	0.20	-	-
愛媛県	23	2.09	1	0.09	3	0.27	4	0.36	6	1.00	-	-	2	0.33
高知県	3	0.50	3	0.50	1	0.17	2	0.33	21	2.63	1	0.13	1	0.13
福岡県	119	3.22	38	1.03	17	0.46	35	0.95	10	0.63	4	0.25	-	-
佐賀県	7	1.00	6	0.86	1	0.14	2	0.29	6	1.00	1	0.17	-	-
長崎県	17	1.70	12	1.20	3	0.30	4	0.40	4	0.40	-	-	-	-
熊本県	55	3.93	9	0.64	2	0.14	8	0.57	17	1.13	1	0.07	-	-
大分県	7	0.70	9	0.90	2	0.20	2	0.20	17	1.70	10	1.00	2	0.20
宮崎県	38	3.45	3	0.27	-	-	2	0.18	5	0.71	1	0.14	-	-
鹿児島県	23	1.44	4	0.25	2	0.13	6	0.38	8	0.67	3	0.25	-	-
沖縄県	71	5.92	3	0.25	6	0.50	5	0.42	16	2.29	3	0.43	-	-

注)9月24日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成15年8月

	結核
	報告数
総数	2641
北海道	92
青森県	26
岩手県	21
宮城県	32
秋田県	13
山形県	23
福島県	42
茨城県	39
栃木県	37
群馬県	18
埼玉県	138
千葉県	134
東京都	316
神奈川県	135
新潟県	46
富山県	18
石川県	18
福井県	15
山梨県	10
長野県	21
岐阜県	66
静岡県	74
愛知県	172
三重県	24
滋賀県	23
京都府	65
大阪府	308
兵庫県	176
奈良県	34
和歌山県	27
鳥取県	12
島根県	16
岡山県	27
広島県	32
山口県	26
徳島県	18
香川県	20
愛媛県	17
高知県	21
福岡県	119
佐賀県	18
長崎県	37
熊本県	31
大分県	20
宮崎県	20
鹿児島県	27
沖縄県	17



37週のデータ

注)表中の報告数は9月18日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年37週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	18	330	3	42	1	23	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	1	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	1	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	69	-	15	-	4	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	22	-	-	-	4	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	14	-	2	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	16	2	2	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	19	-	3	-	2	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	3	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	23	-	2	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年37週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	79	1879	2	347	1	15	-	-	1	35	-	-	1	520
北海道	-	-	-	-	-	31	-	5	1	14	-	-	-	1	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	3	43	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12
宮城県	-	-	-	-	1	32	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
秋田県	-	-	-	-	3	48	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	15	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	1	24	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	1	9	1	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	22	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
埼玉県	-	-	-	-	2	56	-	17	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
千葉県	-	-	-	-	13	82	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	9	135	-	85	-	-	-	-	1	2	-	-	-	52
神奈川県	-	-	-	-	5	48	-	33	-	-	-	-	-	4	-	-	1	27
新潟県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	1	90	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
福井県	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	30	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	-	57	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	1	29	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	2	61	-	31	-	1	-	-	-	2	-	-	-	20
三重県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	5	52	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	7	125	1	51	-	-	-	-	-	8	-	-	-	53
兵庫県	-	-	-	-	7	130	-	6	-	-	-	-	-	4	-	-	-	27
奈良県	-	-	-	-	2	12	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9
和歌山県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
鳥取県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	-	76	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	2	26	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	20
山口県	-	-	-	-	2	35	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
徳島県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
高知県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	3	188	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51
佐賀県	-	-	-	-	1	32	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	2	85	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	3	33	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
鹿児島県	-	-	-	-	-	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年37週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	6	-	-	-	5	1	80	-	43	10	611	-	1	1	71	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	6	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	14	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	27	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	4	-	11	-	4	6	244	-	-	-	25	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	48	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	36	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	11	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	6	-	1	3	55	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	13	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	6	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年37週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	16	-	1	-	-	-	136	-	22	-	33	-	-	-	-	-	4	341
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	4	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	52
神奈川県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	19
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	55
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	8
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	9
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年37週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	48	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	52	-	4	4	106	
北海道	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
福島県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
栃木県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
埼玉県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
千葉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	1	13	
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	5	
新潟県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
石川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山梨県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
愛知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
広島県	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	3	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
沖縄県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年37週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年37週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	9	0.00	1163	0.38	1509	0.50	6878	2.27	1614	0.53	5402	1.78	485	0.16	2877	0.95	39	0.01
北海道	-	-	11	0.08	123	0.85	167	1.15	102	0.70	253	1.74	56	0.39	99	0.68	2	0.01
青森県	-	-	2	0.05	15	0.36	56	1.33	17	0.40	179	4.26	-	-	30	0.71	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	7	0.18	40	1.05	31	0.82	254	6.68	1	0.03	18	0.47	-	-
宮城県	-	-	6	0.10	46	0.78	143	2.42	40	0.68	126	2.14	27	0.46	69	1.17	1	0.02
秋田県	-	-	1	0.03	21	0.60	69	1.97	11	0.31	177	5.06	2	0.06	24	0.69	-	-
山形県	-	-	21	0.70	44	1.47	68	2.27	29	0.97	69	2.30	2	0.07	32	1.07	-	-
福島県	-	-	8	0.17	27	0.56	122	2.54	25	0.52	164	3.42	2	0.04	44	0.92	1	0.02
茨城県	-	-	8	0.11	19	0.26	107	1.45	34	0.46	47	0.64	7	0.09	51	0.69	-	-
栃木県	-	-	5	0.11	19	0.41	82	1.78	15	0.33	70	1.52	6	0.13	42	0.91	-	-
群馬県	-	-	46	0.74	29	0.47	116	1.87	42	0.68	140	2.26	9	0.15	55	0.89	2	0.03
埼玉県	-	-	56	0.35	99	0.62	342	2.15	78	0.49	191	1.20	29	0.18	172	1.08	4	0.03
千葉県	-	-	18	0.15	75	0.61	207	1.68	62	0.50	215	1.75	30	0.24	120	0.98	2	0.02
東京都	-	-	19	0.13	32	0.23	290	2.04	51	0.36	105	0.74	23	0.16	90	0.63	-	-
神奈川県	2	0.01	53	0.26	69	0.33	421	2.03	86	0.42	260	1.26	47	0.23	229	1.11	1	0.00
新潟県	-	-	15	0.25	27	0.45	118	1.97	30	0.50	225	3.75	20	0.33	49	0.82	-	-
富山県	-	-	4	0.14	18	0.62	127	4.38	14	0.48	69	2.38	16	0.55	30	1.03	-	-
石川県	-	-	2	0.07	9	0.31	97	3.34	12	0.41	38	1.31	5	0.17	24	0.83	-	-
福井県	-	-	5	0.23	10	0.45	118	5.36	18	0.82	44	2.00	7	0.32	20	0.91	-	-
山梨県	1	0.02	7	0.28	3	0.12	30	1.20	19	0.76	36	1.44	7	0.28	20	0.80	-	-
長野県	-	-	38	0.69	39	0.71	117	2.13	56	1.02	262	4.76	10	0.18	53	0.96	2	0.04
岐阜県	-	-	42	0.79	23	0.43	37	0.70	21	0.40	37	0.70	5	0.09	34	0.64	3	0.06
静岡県	-	-	56	0.65	31	0.36	224	2.60	33	0.38	202	2.35	14	0.16	106	1.23	-	-
愛知県	-	-	44	0.24	91	0.50	316	1.74	104	0.57	223	1.23	45	0.25	177	0.97	-	-
三重県	-	-	34	0.76	36	0.80	182	4.04	22	0.49	34	0.76	8	0.18	68	1.51	-	-
滋賀県	-	-	38	1.19	20	0.63	33	1.03	15	0.47	31	0.97	3	0.09	25	0.78	-	-
京都府	-	-	13	0.17	16	0.21	256	3.37	20	0.26	59	0.78	3	0.04	62	0.82	-	-
大阪府	-	-	70	0.36	68	0.35	422	2.16	73	0.37	98	0.50	17	0.09	151	0.77	4	0.02
兵庫県	2	0.01	65	0.51	42	0.33	382	2.98	102	0.80	286	2.23	16	0.13	126	0.98	1	0.01
奈良県	-	-	19	0.68	14	0.50	65	2.32	26	0.93	36	1.29	4	0.14	17	0.61	1	0.04
和歌山県	-	-	2	0.06	8	0.26	65	2.10	12	0.39	23	0.74	-	-	34	1.10	2	0.06
鳥取県	-	-	27	1.42	27	1.42	72	3.79	14	0.74	59	3.11	-	-	25	1.32	-	-
島根県	-	-	9	0.39	7	0.30	39	1.70	17	0.74	36	1.57	-	-	13	0.57	-	-
岡山県	-	-	3	0.06	26	0.48	124	2.30	21	0.39	168	3.11	5	0.09	30	0.56	4	0.07
広島県	-	-	53	0.71	26	0.35	228	3.04	56	0.75	54	0.72	16	0.21	65	0.87	3	0.04
山口県	-	-	33	0.67	43	0.88	198	4.04	23	0.47	91	1.86	8	0.16	69	1.41	-	-
徳島県	-	-	9	0.39	9	0.39	63	2.74	8	0.35	44	1.91	3	0.13	35	1.52	-	-
香川県	-	-	10	0.31	7	0.22	53	1.66	15	0.47	13	0.41	1	0.03	34	1.06	1	0.03
愛媛県	-	-	44	1.13	29	0.74	115	2.95	31	0.79	113	2.90	1	0.03	35	0.90	-	-
高知県	-	-	34	1.10	12	0.39	56	1.81	9	0.29	60	1.94	1	0.03	19	0.61	1	0.03
福岡県	-	-	63	0.53	92	0.77	390	3.25	74	0.62	180	1.50	5	0.04	158	1.32	1	0.01
佐賀県	-	-	16	0.70	22	0.96	31	1.35	15	0.65	43	1.87	1	0.04	38	1.65	-	-
長崎県	1	0.01	10	0.23	17	0.39	70	1.59	19	0.43	96	2.18	-	-	22	0.50	-	-
熊本県	-	-	50	1.02	24	0.49	148	3.02	14	0.29	185	3.78	-	-	75	1.53	-	-
大分県	-	-	42	1.17	42	1.17	116	3.22	17	0.47	120	3.33	1	0.03	46	1.28	2	0.06
宮崎県	1	0.02	30	0.81	26	0.70	161	4.35	37	1.00	16	0.43	15	0.41	70	1.89	-	-
鹿児島県	2	0.02	20	0.34	17	0.29	171	2.90	31	0.53	147	2.49	2	0.03	57	0.97	1	0.02
沖縄県	-	-	1	0.03	3	0.09	24	0.71	13	0.38	24	0.71	5	0.15	15	0.44	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年37週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	26	0.01	3586	1.18	59	0.02	1251	0.41	13	0.02	752	1.19	-	-	4	0.01	51	0.11
北海道	6	0.04	354	2.44	2	0.01	55	0.38	-	-	21	0.72	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	114	2.71	-	-	26	0.62	-	-	12	1.09	-	-	-	-	3	0.50
岩手県	-	-	79	2.08	-	-	15	0.39	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	71	1.20	3	0.05	21	0.36	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	49	1.40	2	0.06	6	0.17	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	1	0.14
山形県	-	-	43	1.43	-	-	6	0.20	-	-	5	0.63	-	-	-	-	1	0.10
福島県	-	-	131	2.73	3	0.06	24	0.50	-	-	30	2.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	23	0.31	-	-	18	0.24	-	-	18	1.13	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	67	1.46	2	0.04	13	0.28	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	35	0.56	-	-	45	0.73	-	-	25	1.79	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	141	0.89	1	0.01	46	0.29	2	0.06	30	0.83	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	99	0.80	3	0.02	42	0.34	1	0.03	25	0.78	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	116	0.82	-	-	16	0.11	-	-	19	1.36	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.01	188	0.91	1	0.00	66	0.32	3	0.07	63	1.50	-	-	-	-	2	0.17
新潟県	-	-	195	3.25	-	-	33	0.55	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.17
富山県	-	-	69	2.38	-	-	1	0.03	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	28	0.97	-	-	8	0.28	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	76	3.45	-	-	4	0.18	-	-	2	0.67	-	-	-	-	5	0.83
山梨県	-	-	19	0.76	-	-	2	0.08	-	-	5	1.67	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	151	2.75	-	-	5	0.09	1	0.09	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	50	0.94	-	-	11	0.21	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	84	0.98	-	-	63	0.73	-	-	29	1.45	-	-	-	-	2	0.20
愛知県	3	0.02	110	0.60	7	0.04	114	0.63	1	0.03	53	1.51	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	42	0.93	-	-	24	0.53	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	21	0.66	-	-	18	0.56	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.43
京都府	1	0.01	30	0.39	1	0.01	11	0.14	-	-	33	1.74	-	-	-	-	2	0.33
大阪府	1	0.01	74	0.38	5	0.03	64	0.33	-	-	23	0.47	-	-	-	-	6	0.40
兵庫県	-	-	77	0.60	7	0.05	132	1.03	-	-	42	1.20	-	-	-	-	1	0.08
奈良県	1	0.04	8	0.29	5	0.18	22	0.79	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	33	1.06	3	0.10	4	0.13	-	-	1	0.25	-	-	2	0.18	2	0.18
鳥取県	-	-	12	0.63	1	0.05	8	0.42	-	-	2	0.67	-	-	-	-	9	1.80
島根県	-	-	9	0.39	-	-	2	0.09	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	47	0.87	3	0.06	17	0.31	-	-	32	2.67	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	65	0.87	1	0.01	19	0.25	-	-	34	1.70	-	-	-	-	5	0.24
山口県	-	-	47	0.96	-	-	41	0.84	-	-	11	1.22	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	40	1.74	-	-	15	0.65	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	43	1.34	-	-	11	0.34	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	138	3.54	-	-	7	0.18	-	-	31	4.43	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	52	1.68	-	-	44	1.42	-	-	8	2.67	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	-	-	143	1.19	4	0.03	60	0.50	1	0.04	37	1.42	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	56	2.43	-	-	12	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	75	1.70	-	-	16	0.36	2	0.25	11	1.38	-	-	1	0.08	-	-
熊本県	-	-	55	1.12	5	0.10	5	0.10	2	0.22	44	4.89	-	-	-	-	4	0.27
大分県	-	-	53	1.47	-	-	16	0.44	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	143	3.86	-	-	26	0.70	-	-	8	2.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	28	0.47	-	-	31	0.53	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	3	0.09	-	-	6	0.18	-	-	3	0.30	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年37週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	108	0.23	2	0.00	1	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	7	0.35	-	-	-	-
宮城県	6	0.50	1	0.08	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	14	1.40	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	4	0.57	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	4	0.33	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	7	0.70	-	-	-	-
長野県	2	0.18	-	-	-	-
岐阜県	2	0.40	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	7	0.54	-	-	-	-
三重県	6	0.67	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	13	0.87	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	5	0.45	-	-	1	0.09
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	5	1.00	-	-	-	-
広島県	3	0.14	1	0.05	-	-
山口県	5	0.56	-	-	-	-
徳島県	1	0.14	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	3	0.25	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第37号 平成15年9月29日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。